

V.NETWORKS

型名 VN-C10

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」と「安全上のご注意」を良くお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、この装置の上面に製造番号が正しく記されているか、またその製造番と保証書に記載されている製造番号が一致しているかをお確かめください。

目次

はじめに

目次	2
特長	4
付属品・添付物	4
動作環境	5
バージョンアップ	5
正しくお使いいただくためのご注意	6
各部の名称とはたらき	7

準備

こんなことができます	9
準備の流れ	10

Step 1 接続・設置

1-1 レンズの取り付け	11
1-2 電源コードの接続	12
1-3 LAN ケーブルの接続	13
1-4 アラーム入出力端子の接続	14
1-5 カメラの取り付け	16

Step 2 ネットワーク設定

2-1 ソフトウェアのインストール	17
2-2 パソコンの IP アドレス設定[Windows XP の場合]	18
パソコンの IP アドレス設定[Windows 2000 の場合]	20
2-3 「V.Networks Setup Tool」で本機の IP アドレスを設定	22
2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定	
1. パスワード設定	25
2. アラーム設定	26
3. 動き検出設定	28
4. 録画設定	30
5. FTP クライアント設定	32
6. マルチキャスト	34
7. 圧縮方式	36
8. メモリ容量	36
9. Web	37
10. FTP サーバ	38
11. 時刻設定	39
2-5 「V.Networks コントローラ」で接続カメラを登録	40

Step 3 調整

3-1 バックフォーカス調整	42
----------------------	----

操 作

V.Networks コントローラ

Step 4 V.Networks コントローラでの設定

4-1 V.Networks コントローラの起動	43
4-2 V.Networks コントローラで設定できる機能について	44
4-3 動き検出スタンバイ	45
4-4 画像サイズと上下反転	46
4-5 画質設定	47
4-6 フレームレート	49
4-7 アラーム設定	50
4-8 タイムスタンプ	52
4-9 登録情報変更	53

Step 5 V.Networks コントローラでの操作

5-1 V.Networks コントローラで操作できる機能について	54
5-2 録画・停止	55
5-3 再生	56
5-4 録画・再生についてのご注意	58
5-5 スナップショット	59

操 作

(Web ブラウザで の操作)

Step 6 Web ブラウザでの操作

6-1 動作環境	60
6-2 アクセス権限レベル	61
6-3 Web ブラウザの起動	62
6-4 Web ブラウザでの設定	63
1. その他の設定	64
2. 画像設定	67
3. 表示設定	68
4. アラーム設定	69
5. FTP 設定	70
6-5 静止画像の閲覧	72
6-6 動画画像の閲覧	73
6-7 画像のリンク	74

その他

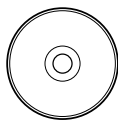
こんなときは	75
保証とアフターサービス	76
仕様	77

はじめに

特長

- ・カメラ部に 38 万画素（1/3 型）CCD を採用し、高画質な映像監視がおこなえます。
- ・圧縮方式は、従来の JPEG 方式に加え、幅広いビットレートに対応可能な MPEG4 方式にも対応。（MPEG4 のとき、最大同時アクセスクライアント数は 4 台です。）
- ・動き検出機能とアラーム入力による映像記録機能を装備。
- ・形状を従来の CCTV 監視カメラと共通にし、ハウジングなど監視カメラ周辺機器が使用可能。
- ・Web サーバ内蔵により、Internet Explorer, Netscape で見る事が可能。
- ・マルチキャストに対応（JPEG のみ対応）。

付属品・添付物



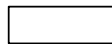
CD-ROM
(含む取扱説明書)



はじめに
お読みください



サービス窓口案内



保証書

この取扱説明書の見かた

本文中の記号の見かた。

ご注意 操作上のご注意が書かれています。

メモ 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

 参考ページや参照項目を示しています。

※ ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負い兼ねます。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。
本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは記載していません。

動作環境

接続可能なパソコンの仕様

OS	: Windows 2000 (SP1 以上) Windows XP Home Edition Windows XP Professional
CPU	: Pentium III 500 MHz 同等以上 (1 GHz 以上を推奨)
メモリー容量	: 128 MB 以上
ハードディスク空容量	: 20 MB 以上
ディスプレイおよび、ビデオカード	: 1024X 768 画素以上、True Color (24 bit または 32 bit)

LAN 環境

・ IEEE802.3 準拠の HUB 等で相互に接続された 10BASE-T/100BASE-TX ネットワーク

メモ

パソコンの仕様は、アプリケーションを快適にお使いいただくための目安であり、動作の保証をするものではありません。動作環境条件を満たしているパソコンをお使いでも、お客様の使用状況によっては、快適にお使いいただけない場合があります。

ご注意

各 OS の動作環境が上記を越える場合は、そちらが優先されます。

バージョンアップについて

ソフトウェアのバージョンアップは、以下ホームページからおこなえます。

<http://www.jvc-victor.co.jp/pro/vnetworks/>

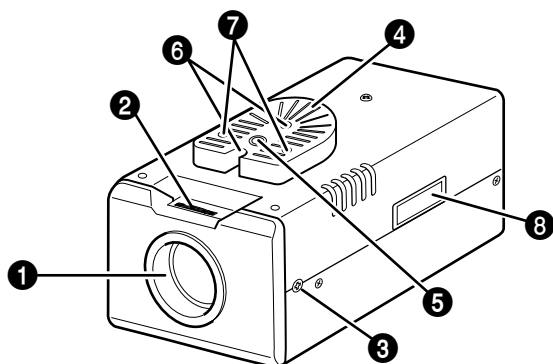
この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

正しくお使いいただくためのご注意

- 本機は屋内用カメラです。屋外で使用する場合は、ハウジング等を使用してください。
- 次のような場所への設置およびご使用はできません。
 - ・ 雨や水のかかる場所
 - ・ 厨房など蒸気や油分の多い場所
 - ・ 使用周囲温度（0℃～40℃）を超える場所
 - ・ 放射線やX線および強力な電波や磁気の発生する場所
 - ・ 腐食性ガスの発生する場所
 - ・ 振動する場所
 - ・ ほこりの多い場所
- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ（例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く）で使用された場合画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- 高輝度の被写体（ランプなど）を撮影した時、画面上で高輝度の被写体の上下方向に白い尾引き現象が現れます。これは固体撮像素子特有の現象（スミア現象）で故障ではありません。
- お手入れは、電源を切ってからおこなってください。また汚れは、ネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。
シンナーやベンジンなどでふかないでください。表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどい時は、中性洗剤を水でうすめてふき、後でからぶきしてください。
- 端子台のケーブルストッパー部は、はずれることがありますのでケーブルの取り付けは、ゆっくり確実におこなってください。
- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。
本機周辺の通風を妨げないようにしてください。特に冷却ファン用通風口をふさがないようにしてください。
本機は本体表面からも放熱をおこなっています。壁の近くなど熱のこもる場所に設置しないでください。
- 本機をダイヤルアップ環境等の低帯域環境から閲覧する場合、滑らかなMPEG4画像を閲覧することはできませんが、これは本機の特性であり異常ではありません。
- 本機をNAT環境に設置する場合、MPEG4画像を閲覧することはできませんが、これは本機の特性であり異常ではありません。（本機はMPEG4画像の通信にRTPというネットワークプロトコルを使用していますが、一般にNATルータではRTPパケットを正しくNAT変換することができません。）
- SNMP機能搭載のHub/Switchの一部機種においては、ブロードキャストまたはマルチキャストの抑制機能が付いています。その機能が有効な場合、本機のマルチキャスト画像が正常に閲覧できない場合があります。
- 節電のため使用しないときは、システムの電源を切ってください。
- ローカル録画した画像と時刻設定は、本機の揮発性メモリに記録されるため、電源を切ると消えてしまいます。  31ページ

各部の名称とはたらき

〔前面部、上面部、側面部〕



① レンズマウント

レンズ取り付けマウントです。

CSマウントレンズまたはCマウントレンズに適合します。

② バックフォーカス調整リング

バックフォーカスの調整とレンズマウント方式の切り換えをおこなうリングです。

操作時は③バックフォーカス固定ネジを反時計方向に回して緩め、操作後は時計方向に回して固定してください。

本機はCSマウントで最適な位置に調整して出荷されています。

③ [BF LOCK] バックフォーカス固定ネジ

バックフォーカス調整機構の固定ネジです。

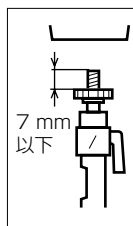
④ カメラ取付ブラケット

出荷時、カメラ上面に取り付けられています。使用状況に応じて下面に取り付けることができます。下面のネジ穴に⑦カメラ取付ブラケット固定ネジで取り付けます。

⑤ カメラ取付用ネジ穴 (1/4-20UNC)

本機をфикサーや回転台などに取り付ける場合は、この穴を使用します。

ネジの長さは7 mm以下のものを使用してください。指定長さより長いネジを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。



⑥ 回転防止用穴

本機を取り付ける場合は、落下防止のため、この回転防止用穴を利用し、確実に取り付けてください。

⑦ カメラ取付ブラケット固定ネジ (2本:M2.6 x 6 mm)

ネジは長さ6 mmを使用してください。

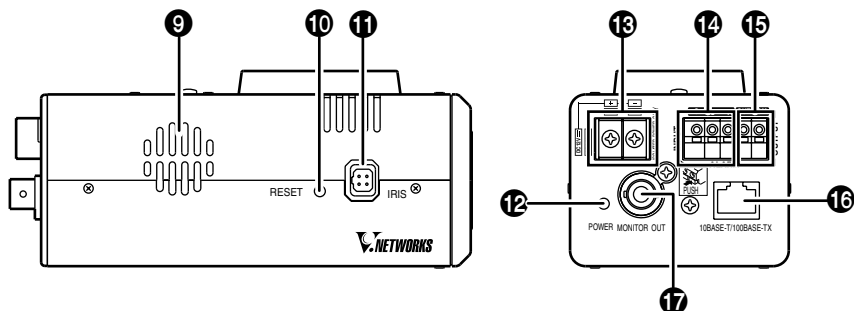
指定長さより長いネジを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。

⑧ [MAC address]MAC アドレス表示部

MACアドレスは、製品固有の物理アドレスです。変更はできません。

各部の名称とはたらき (つづき)

側面部・背面部



9 通風口

内部冷却用ファンの通風口です。
通風口をふさがないように設置してください。

10 [RESET]リセットボタン

このボタンを押すと本機を再起動します。
2秒押しつづけると「V.Networks Setup Tool」で設定した値を、工場出荷時の値にもどして再起動します。

11 [IRIS]アイリス端子

DC IRIS レンズと接続します。
(VIDEO IRIS レンズは、使用できません)

12 [POWER]電源表示灯

電源を入れると点滅し、カメラが接続状態になると点灯にかわります。

使用中に点滅した場合は、カメラあるいは接続機器を確認してください。

13 [DC 12 V/AC 24 V]電源入力端子

DC 12 V電源かAC 24 V、50 Hz/60 Hz電源に接続します。
(12 ページ)

14 [ALARM INPUT]アラーム入力端子

外部アラーム機器と接続します。
(14 ページ)

15 [ALARM OUTPUT]アラーム出力端子

外部アラーム機器と接続します。
(14 ページ)

16 [10 BASE-T/100 BASE-TX]

LANケーブルでネットワークと接続します。
(13 ページ)

17 [MONITOR OUT]映像信号出力端子

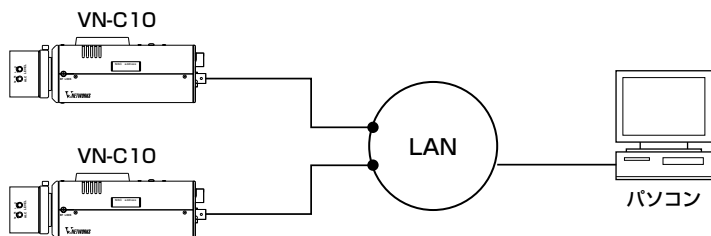
カメラアングルなどを決める場合にモニターテレビなどと接続します。

ご注意

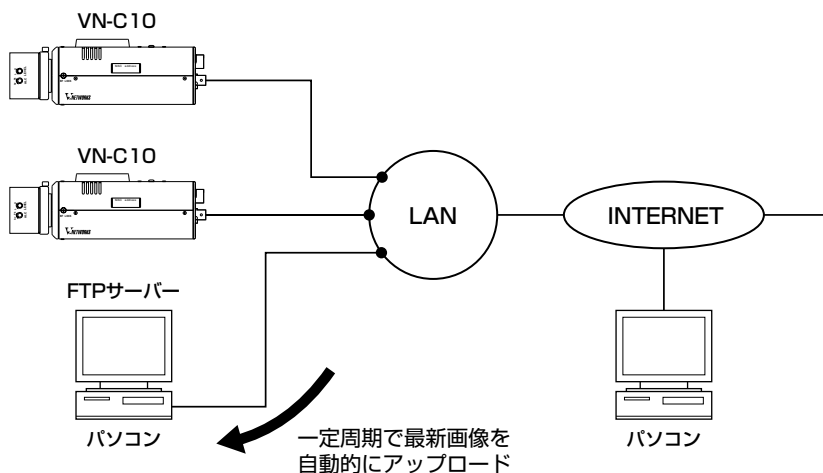
アングル調整専用ですので、スイッチャーなどとの接続ではノイズ等の不具合を生じることがあります。

こんなことができます

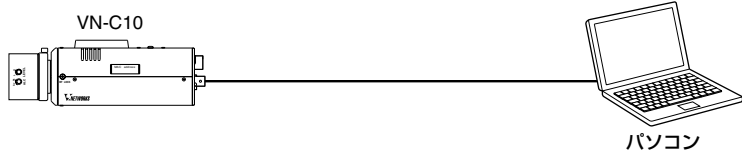
LANでつなぐ



ネットワークにつなぐ



ピアツーピアでつなぐ



準備の流れ

下記手順で設定してください。

Step 1 接続・設置

レンズの取り付け、電源ケーブル、LANケーブル、アラームなどを接続します。次に、本機を天井に取り付けます。落下防止ワイヤーも忘れずに付けてください。

カメラを取り付けたら背面部MONITOR OUT端子にモニターテレビを接続し、カメラアングルの調整をおこなってください。(バックフォーカス調整は 42 ページ)

11 ページ



Step 2 ネットワーク設定

ソフトウェアのインストールパソコンおよび本機のネットワーク設定、「V.Networks Setup Tool」での設定、「V.Networks コントローラ」で接続カメラの登録などをおこないます。

17 ページ



※ V N - C 1 0 を複数台使用するシステムでは、まず 1 台の電源のみ投入し、“2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定”までおこなった後に、2 台目の電源を入れて設定してください。以降のカメラも同様手順でおこなってください。(12 ページ)

Step 3 カメラ調整

カメラ映像を確認しながら本機のバックフォーカス調整をおこないます。

42 ページ



Step 4 V.Networks コントローラでの設定

インストールしたソフトウェア「V. Networks コントローラ」で画質設定、アラーム設定などをおこないます。

43 ページ



Step 5 V.Networks コントローラでの操作

「V. Networks コントローラ」で録画・再生などの操作がおこなえます。

54 ページ



Step 6 Web ブラウザでの操作

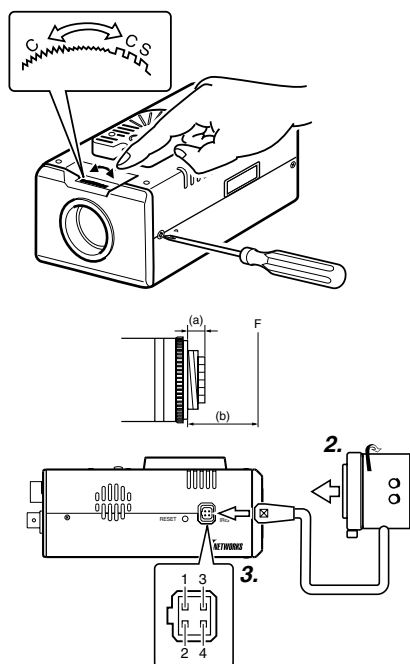
Web ブラウザで操作がおこなえます。

60 ページ

準備 (Step1 接続・設置)

1-1 レンズの取り付け

以下の手順でレンズを取り付けます。



1. レンズ取り付け前に使用レンズのマウント方式を確認します。

出荷時、本機はCSマウントになっています。Cマウントレンズ使用時は、バックフォーカス固定ネジをドライバーでゆるめ、バックフォーカス調整リングを指または先端の細いもの（ドライバーなど）を使用して回し、マウント方式を切り換えます。

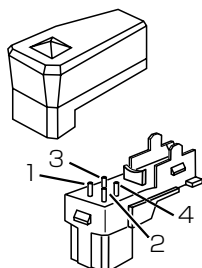
左図に示すレンズ取り付け部分の寸法(a)は下表に示した値のものを使用してください。寸法(a)が長いものはカメラ内部を破損させたり、正常に取り付けができませんので、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

レンズ	フランジバック (b)	寸法 (a)
Cマウントレンズ	17.526 mm	10 mm以下
CSマウントレンズ	12.5 mm	5.5 mm以下

2. レンズを時計方向に回して、カメラにしっかり取り付けます。

3. DC IRISレンズの場合、ピン配置を確認してレンズケーブルに接続します。

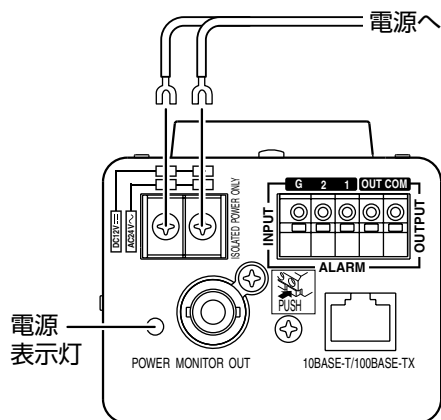
4 ピンプラグ



レンズ ピン番号	DC IRIS レンズ (EE アンプ内蔵していない)
1	制動 ⊖
2	制動 ⊕
3	駆動 ⊕
4	駆動 ⊖

1-2 電源コードの接続

DC12 VあるいはAC24 V 電源と接続します。



本機に電源を供給すると電源表示灯が点灯します。

電源コードについて

- ・DC12 VとAC24 V電源の同時入力（同時接続）は絶対にしないでください。
- ・接続ミスやコードのはずれを防ぐため、端子との接続はラグ板を使用してください。
- ・DC12 V 電源を接続するときは、⊕、⊖の極性を正しく合わせてください。
- ・DC12 V 電源は、リップル電圧 50 mV 以下のものをお使いください。

（長さ 30 m 以下
UL1007もしくはUL1015 相当品
AWG#20 相当以上）

警告

正しい電源電圧で使用する本機の電源定格は、DC12 VまたはAC24 V 50 Hz/60 Hz です。AC24 Vは一次側の絶縁されたタイプをお使いください。

定格を超えた電源を供給すると故障や最悪の場合発煙・発火のおそれがあります。

複数台システムの場合

VN-C10を複数台使用するシステムでは、まず1台の電源のみ投入し、「2-4[V.Networks Setup Tool]での設定」までおこなった後に、2台目の電源を入れて設定してください。以降のカメラも同様手順でおこなってください。

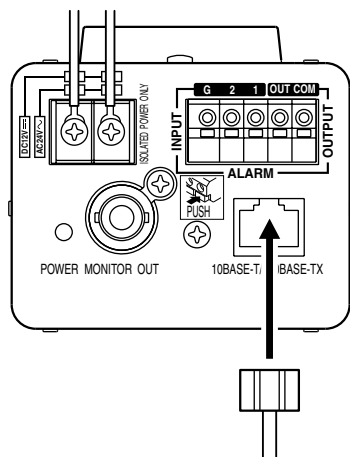
メモ

工場出荷時点ではVN-C10のIPアドレスは全て198.168.0.2となっています。そのため、同一LAN環境下で同時に複数台のカメラ電源を投入すると、IPアドレスの重複がおり、正しくアクセスできなくなります。**必ず1台ずつ電源を投入してください。**

一度IPアドレスの重複が発生した場合は、同一LAN環境下にVN-C10が1台だけであることを確認し、しばらく（10分以上）時間をおくかまたは、同一LAN環境下の全てのネットワーク機器の電源を再投入しないとVN-C10に対し、アクセスできなくなる場合があります。

1-3 LAN ケーブルの接続

LAN ケーブルで HUB またはパソコンに接続します。



HUB に接続する場合

ストレートケーブルを使用してください。

パソコンに接続する場合

クロスケーブルを使用してください。

ご注意

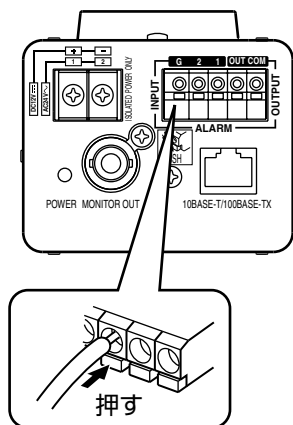
まれに、ご使用の LAN ボードでクロスケーブルの使用が認められていない場合がありますので、接続前に LAN ボードの仕様を確認ください。

メモ

100BASE-TX でご使用の場合はカテゴリ 5 ケーブルをご使用ください。

1-4 アラーム入出力端子の接続

アラーム入出力端子と、センサー、ブザーなどの外部機器と接続します。



ケーブルの抜き差しは、図のようにボタンを押しておこなってください。

使用のケーブル

長さ 50 m 以下

UL1007もしくはUL1015相当品

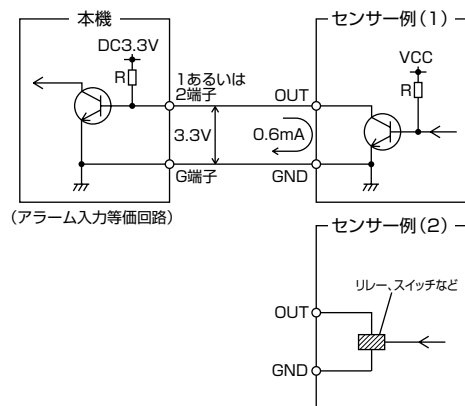
AWG#22 ~ AWG#18 相当品

ご注意

外来の雑音等により、長さ50 m以下でも誤動作を起こす場合があります。その場合は、シールドケーブルを使用する、あるいは雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置をおこなってください。

アラーム入力端子

赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。



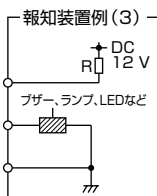
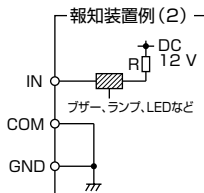
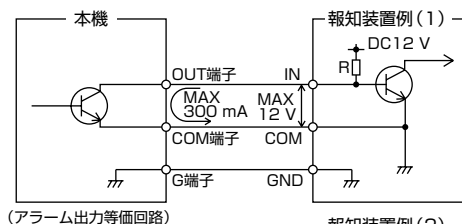
入力条件

- ・無電圧リレー a 接点入力または、NPN オープンコレクタ入力 (a 接点: 通常 “開” で、アラーム時 “閉”)
- ・アクティブローレベル
- ・ラッチ/モーメンタリ (500 ms 以上)
- ・ローレベル時回路電流 0.6 mA
- ・ハイレベル時印加電圧 3.3 V

1-4 アラーム入出力端子の接続（つづき）

アラーム出力端子

報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続します。



出力条件

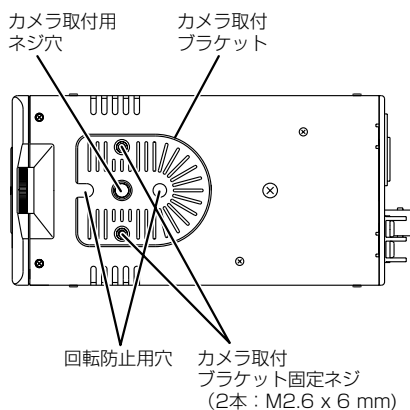
- ・ NPN オープンコレクタ出力相当
(出力論理は、コントローラで設定)
- ・ 許容印加電圧 DC 12 V 以下
- ・ 許容流入電流 300 mA
- ・ モーメンタリ (2 ~ 5000 ms) 出力
(時間はコントローラで設定)

ご注意

本機 G 端子と報知装置の GND を接続してください。

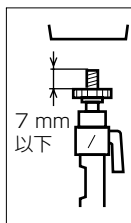
1-5 カメラの取り付け

本機をフィクサーや回転台などに取り付ける場合は、カメラ取付ブラケットにあるカメラ取付用ネジ穴を使用します。

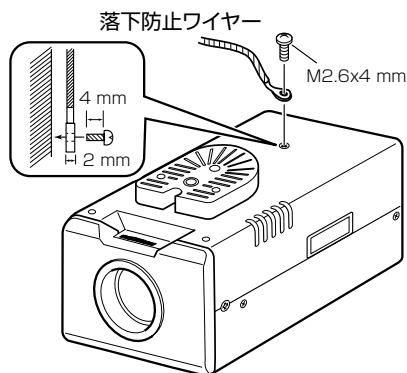


ご注意

- カメラ取付用ネジ長さは、取り付け面より7 mm以下のものを使ってください。指定長さより長いネジを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。



- 出荷時カメラ取付ブラケットはカメラ上面に取り付けられています。下面に付け換える場合は、カメラ取付ブラケット固定ネジ2本をはずして付け換えます。



ご注意

カメラ取付ブラケット固定ネジは、長さ6 mmを使用してください。指定長さより長いネジを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。

[落下防止]

警告

- 壁または天井に取り付けるには、特別な注意が必要です。お客様による工事は避けて専門の工事業者にお任せください。本機が落下するとけがや事故の原因となります。
- フィクサー、回転台等に取り付ける場合は、落下防止のため回転防止用穴を利用し、確実に取り付けてください。
- 落下防止のため本機を強度の強いところ(天井スラブまたはチャンネル)と落下防止ワイヤーで接続してください。
- 使用する落下防止ワイヤーは、長さ・強度・引き回し・材質(絶縁性)等にも十分注意してください。
- 落下防止ワイヤーの取り付けは、本機上面の黒いネジを利用してください。
- 落下防止ワイヤー固定用指定ネジ(M2.6 X 4 mm): 指定長さより長いネジを使用すると、内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。

準備 (Step 2 ネットワーク設定)

2-1 ソフトウェアのインストール

本機を操作するために必要なソフトウェアを付属のCD-ROMから下記手順でインストールします。

V. Networks コントローラのインストール

1. 「Victor」フォルダー内「Setup.exe」を実行します。
2. 画面の指示にしたがって、インストールしてください。
3. 正しくインストールされた場合は、「スタート」「すべてのプログラム」「V. NETWORKS」フォルダー内に、「V.Networks コントローラ」が表示されます。

V.Networks Setup Tool のインストール

1. 「Victor」フォルダ内「Setup」フォルダ内「Setup.exe」を実行します。
2. 画面の指示にしたがって、インストールしてください。
3. 正しくインストールされた場合は、「スタート」「すべてのプログラム」「V. NETWORKS」フォルダー内に、「vn-c10 セットアップツール」が表示されます。

Direct X 8.1 およびコーデックのインストール

本機の MPEG4 画像を閲覧するには Direct X 8.1 および ISO MPEG4 コーデックが必要です。

コーデックのインストール

ファイル名“WMPCD8.exe”を起動し、画面の指示にしたがってインストールしてください。

Direct X 8.1 はバージョンを確認し、古ければインストール

1. バージョン確認。（「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を選択、「dxdiag」と入力し OK をクリックします）
2. 古ければファイル名“DX81NTjpn.exe”を起動し、画面の指示にしたがってインストールしてください。

2-2 パソコンのIPアドレス設定[Windows XPの場合]

カメラを取り付けたら、本機を操作するパソコンのIPアドレスを設定します。

Windows XPの場合、以下の手順で設定してください。

(Windows 2000の場合 20 ページ)

メモ

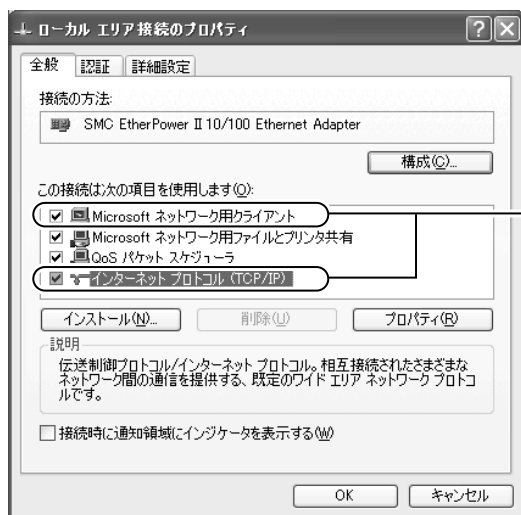
DHCPの環境下で、かつV. Networksの割り当てられるIPアドレスが明確な場合、2-2「パソコンのIPアドレス設定」は不要です。

1. スタート をクリックします。

- ・「マイネットワーク」を右クリックし、「プロパティ」を選びます。

2. 本機を操作するパソコンがつながれているネットワークを選びます。

- ・右クリックし「プロパティ」を選びます。



✓ チェックがついていることを確認します。

メモ

「Microsoftネットワーク用クライアント」と「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が表示されていないときは、「インストール(N) ...」を実行してください。

2-2 パソコンの IP アドレス設定[Windows XP の場合](つづき)

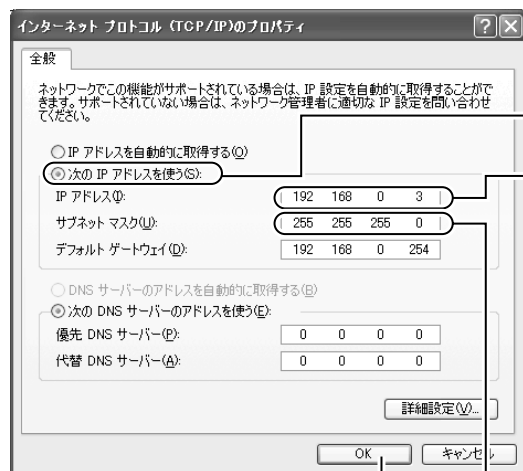
3. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選び「プロパティ」をクリックします。



①「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選びます。

②「プロパティ」をクリックします。

4. 「次の IP アドレスを使う」を選び、「IP アドレス」「サブネットマスク」を設定し **OK** をクリックします。



①「次の IP アドレスを使う」を選びます。

②「IP アドレス」を 192.168.0.3 に設定します。

③サブネットマスクは設定作業に適切な値としてください。
不明な場合はネットワークの管理者に確認してください。

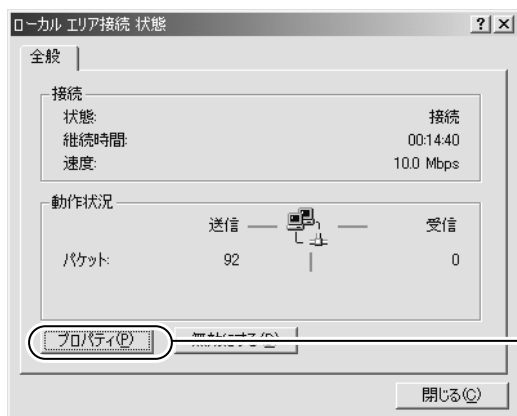
④ **OK** をクリックします。

5. 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面の **OK** をクリックします。

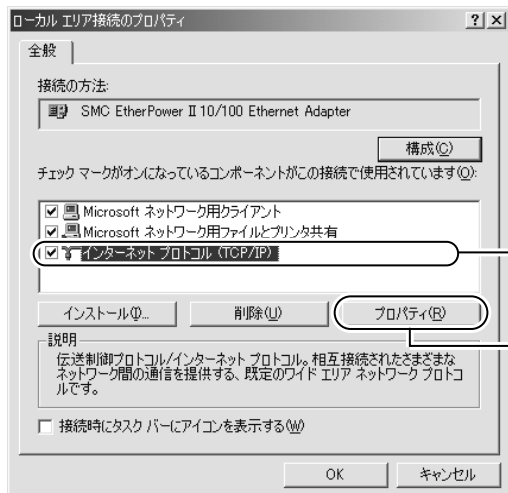
2-2 パソコンの IP アドレス設定[Windows 2000 の場合]

カメラを取り付けたら、本機を操作するパソコンの IP アドレスを設定します。
Windows 2000 の場合、下記の手順で設定してください。

1. **スタート** をクリックする。
・「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックします。
3. 「ローカル エリア接続」をダブルクリックします。



①「プロパティ」をクリックします。



②「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選びます。

③「プロパティ」をクリックします。

2-2 パソコンの IP アドレス設定[Windows 2000 の場合](つづき)

インターネット プロトコル (TCP/IP) のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

☐ IP アドレスを自動的に取得する (D)

☒ 次の IP アドレスを使う (S)

IP アドレス (I): 192 168 0 3

サブネット マスク (M): 255 255 255 0

デフォルト ゲートウェイ (G): 192 168 0 254

☐ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する (B)

☒ 次の DNS サーバーのアドレスを使う (E)

優先 DNS サーバー (P): 0 0 0 0

代替 DNS サーバー (A):

詳細設定 (V)...

OK キャンセル

④ 「次の IP アドレスを使う」 を選びます。

⑤ 「IP アドレス」 を
192.168.0.3 に設定します。

⑥ サブネットマスクは、設定作業に適切な値としてください。不明な場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

4. **OK** をクリックします。

2-3 「V.Networks Setup Tool」で本機のIPアドレス設定

インストールした「V.Networks Setup Tool」で、VN-C10のIPアドレスを設定します。
(本「V.Networks Setup Tool」では、VN-C10しか接続できません。)

ご注意

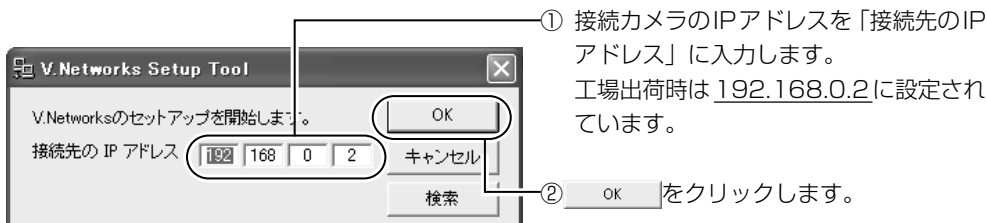
- 本機の電源投入後、PCから接続可能な状態になるまでには20秒程度を要しますが異常ではありません。
- 工場出荷時のIPアドレスについて
工場出荷時はDHCP無効に設定しており、固定IPアドレス192.168.0.2が付与されています。
- DHCPでの運用について
リース期間満了時のIPアドレス再取得の際、前回とは異なるIPアドレスが割り当てられる可能性等が懸念されるため、本機をDHCP設定で運用することを弊社は推奨いたしません。
本機のDHCP設定は、設置・設定手順の簡素化を目的として付いている機能です。

メモ

DHCP設定のVN-C10を接続するには下記のどちらかの環境が必要です。

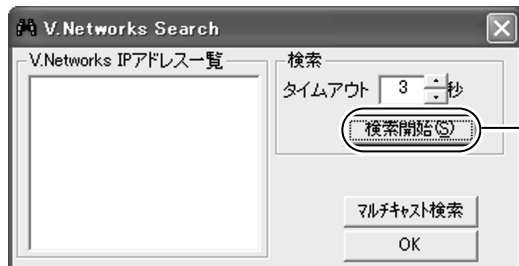
- DHCPサーバが存在しない環境。
- 割り当てたIPとMACアドレスの対応が明確になるDHCPサーバが存在する環境。

1. 「スタート」、「すべてのプログラム」、「V.NETWORKS」、「vn-c10セットアップツール」を選択し「V.Networks Setup Tool」を起動します。



メモ

接続カメラのIPアドレスを確認したい時は、「検索」をクリックします。



「V.Networks Search」画面が表示されます。

「検索開始」クリックすると、検索が始まり「V.Networks IPアドレス一覧」が表示されます。

- 「タイムアウト」は検索に掛ける時間を設定します（可変値0秒～30秒）。検索してもIPアドレスが表示されない場合は、時間を長くし、もう一度検索をおこなってください。
- パソコンとサブネットの異なるV.NetworksがLAN上に接続されている場合、検索で見つかったも接続することはできません。パソコンを適切なIPアドレスに変更後、接続してください。

2-3 「V.Networks Setup Tool」で本機のIPアドレス設定 (つづき)

2. 設定を確認します。

① 「DHCP」を使うか使わないかを設定します。

メモ

「DHCP 情報」を選択すると DHCP サーバの IP アドレスなどを確認することができます。

② ネットワーク管理者に割り当て、あるいは承認を得た IP アドレスへ変更します。

③ 設定作業に適切な値としてください。不明な場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

④ **OK** をクリックします。

その他の設定は 次ページ

3. **OK** をクリックします。

OK をクリックします。

メモ

「OK」をクリックすると、VN-C10 が自動的にリセットされ、設定値が有効になります。

4. 「V.Networks コントローラ」を起動します。

(40 ページ)

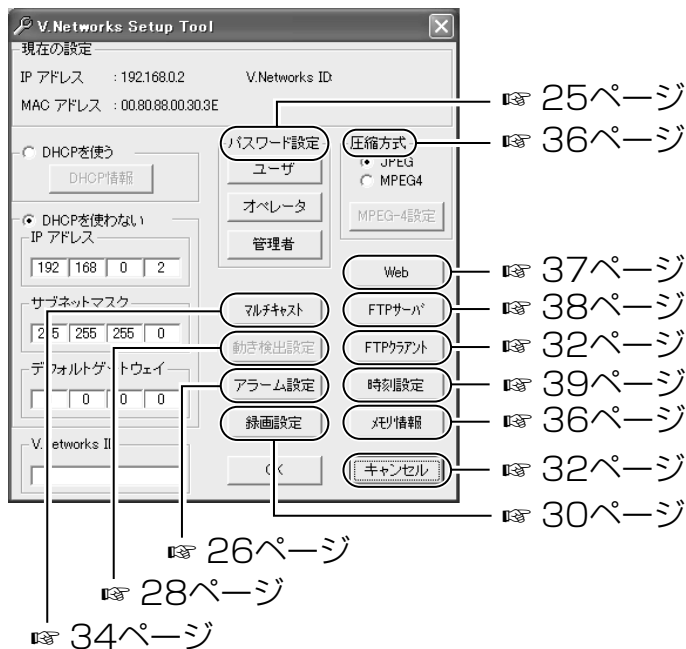
メモ

VN-C10 を複数台使用するシステムでは、まず 1 台の電源のみ投入し、「2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定」までおこなった後に、2 台目の電源を入れて設定してください。以降のカメラも同様手順でおこなってください。

2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定

インストールした「V.Networks Setup Tool」で IP アドレス以外のセットアップをおこないます。

1. 「スタート」、「すべてのプログラム」、「V.NETWORKS」、「vn-c10セットアップツール」を選択し「V.Networks Setup Tool」を起動します。



2. 参照ページ (📖) でその他の設定をおこないます。

2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定（1. パスワード設定）

本機には接続されるパソコン（ユーザ）を規制するため、パスワードによるアクセスの保護機能があります。

パスワードの設定、解除は「V.Networks Setup Tool」でおこないます。

権限レベルごとにユーザ、オペレータ、管理者の3種類のパスワードが設定できます。

権限レベル	アクセス許可内容
ユーザ	動画閲覧のみ
オペレータ	V.Networks コントローラでのすべての操作
管理者	上記および V.Networks Setup Tool でのすべての設定

メモ

パスワード設定は現在のパスワードが一致しないかぎり解除、変更できませんので絶対に忘れないようにしてください。

1. 「V.Networks Setup Tool」を起動し、「パスワード設定」のユーザ、オペレータ、管理者のいずれかを選択します。



- ① パスワード保護を設定する場合およびパスワードを変更する場合、パスワードを入力します。
入力した文字は*で表示されます。
- 上下とも同じパスワードを入力します。
 - パスワードは半角英数字8文字以内です。半角カナは入力できません。

メモ

パスワード設定を解除する場合は、何も入力しないでOKをクリックしてください。

2. 確認画面が表示されます。



- ② OK をクリックします。

メモ

- パスワード保護が設定されているVN-C10に対してはパスワード要求画面が表示されます。
- 管理者用パスワードが一致しないとVN-C10セットアップをおこなうことはできません。
- パスワードはユーザ<オペレータ<管理者の順でレベルが上位になりますが、下位レベルのみにパスワードが付加され、その上位にパスワードがない状態ではパスワード保護は効きません。

2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定 (2. アラーム設定)

アラームに関する設定をおこないます。

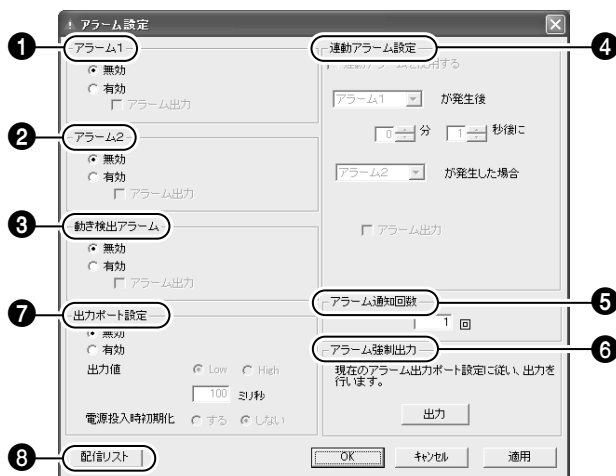
アラーム入力

- ・ 背面部 ALARM INPUT 1,2 端子からの入力信号。(☞ 14 ページ「アラーム入力端子」)
- ・ 動き検出をした時。(☞ 28 ページ「動き検出の設定」)

アラーム時の動作

- ・ 背面部 ALARM OUTPUT 端子からの出力信号。(☞ 15 ページ「アラーム出力端子」)
- ・ 「V.Networks コントローラ」へ、アラーム情報の通知。(☞ 27 ページ「配信リスト」)
- ・ アラーム画像の録画。(☞ 30 ページ「録画設定」)

1. 「V.Networks Setup Tool」を起動し、「アラーム設定」を選択します。



2. 設定が終わったら「適用」、次に **OK** をクリックします。

2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定 (2.アラーム設定) (つづき)

① アラーム 1

背面部 ALARM INPUT 1 端子に入力した信号をアラーム 1 信号とするには「有効」を選択します。

「アラーム出力」を選択すると、出力ポート設定に従い背面部ALARM OUTPUT端子にアラーム信号を出力します。

② アラーム 2

背面部 ALARM INPUT 2 端子に入力した信号をアラーム 2 信号とするには「有効」を選択します。

「アラーム出力」を選択すると、出力ポート設定に従い背面部ALARM OUTPUT端子にアラーム信号を出力します。

③ 動き検出アラーム

「動き検出設定」画面で設定したエリアに動きがあった場合、アラームとするには「有効」を選択します。

「アラーム出力」を選択すると、出力ポート設定に従い背面部ALARM OUTPUT端子にアラーム信号を出力します。

④ 連動アラーム設定

2つのアラームが設定時間間隔内に連続して入った場合の連続アラームについて設定します。

アラーム入力の順番とその時間間隔を設定します。

「アラーム出力」を選択すると、出力ポート設定に従い背面部ALARM OUTPUT端子にアラーム信号を出力します。

メモ

- ・ 連動アラーム設定すると、2番目のアラーム入力時は、連動アラーム動作になり、2番目のアラーム動作はおこないません。
- ・ アラーム出力を有効にしないと、アラーム入力設定のアラーム出力にチェックを入れても動作しません。

⑤ アラーム通知回数

「V.Networks コントローラ」に何回アラーム通知を行うか設定します。(可変値: 1 ~ 3)

メモ

使用しているLAN環境などによっては、アラーム通知に失敗することがあります。この場合は、アラーム通知回数を3回に設定してください。この場合も、「V.Networks コントローラ」のアラーム動作は1回です。

⑥ アラーム強制出力

「出力」ボタンを押すと、背面部 ALARM OUTPUT 端子からアラーム信号が出力されます。

アラーム動作の確認をおこなうときに使用します。

⑦ 出力ポート設定

背面部ALARM OUTPUT端子にアラーム信号を出力するには、「有効」を選択します。

「出力値」で、出力信号の極性 (HighかLow) と出力時間 (1 ~ 5000 ミリ秒) を設定します。

接続機器に合わせて、極性の出力時間を設定してください。

電源投入時に、初期化「する」を選択すると、電源投入時に設定したアラーム信号を1回出力します。

⑧ 配信リスト

アラーム入力時に通知するパソコンのIPアドレスを表示します。(「配信宛先」画面)

配信先の削除は、削除するIPアドレスを選択し、削除ボタンを押します。

メモ

- ・ 配信先が10以上になるとアラーム配信されません。

2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定 (3. 動き検出設定)

映像に動きがあると、アラーム動作をおこなう動き検出設定をおこないます。動きは「基準画像」との比較でおこないます。動き検出を行うエリアは、下記手順で設定します。(MPEG4 ではこの設定はおこなえません。)

1. 「V.Networks Setup Tool」を起動し、「アラーム設定」を選択し、「動き検出アラーム」を「有効」にします。(※ 26 ページ「アラーム設定」)
2. 「V.Networks Setup Tool」の「動き検出設定」を選択します。



メモ

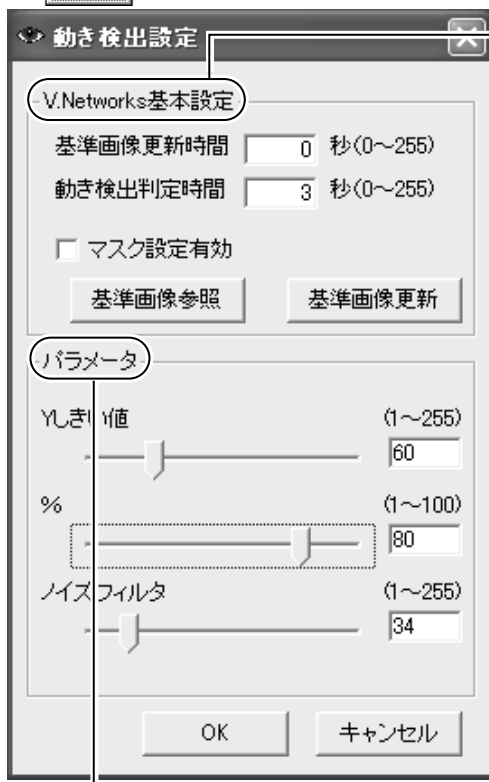
- エリア表示位置は目安です。必ず動作確認をおこなってください。
- 1 画面は 300 (20x15) ブロックと分割されています。動き検出をする被写体の大きさが複数ブロック以上となるように、レンズの倍率を調節してください。

ご注意

動き検出は盗難、火災などを防止するためのものではありません。また、被写体条件や設定条件によっては正しく動作しない場合があります。万一発生した事故や損害に対する責任は、一切負いません。

2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定 (3.動き検出設定) (つづき)

3. **詳細** を選択すると「動き検出設定」が表示されます。



V. Networks 基本設定

基準画像更新時間

動き検出の基準となる画像を一定時間間隔で更新します。屋外など基準画像が変化する場合は時間を短く設定します。

メモ

“0秒”に設定した場合、動き検出が10秒間されないと、基準画像は自動的に更新されます。

動き検出判定時間

動き検出とみなす時間を設定します。動きのゆっくりしたものの場合は、時間を長めに設定すると誤動作を防げます。

マスク設定有効

動き検出で設定したエリア（黄色表示）の外側を検出エリアとして設定します。

基準画像参照

基準画像を確認することができます。
下記画面を表示します。

基準画像更新

選択すると、動き検出の基準となる画像を更新します。

パラメータ

Yしきい値

数字を小さくすると基準画像との輝度レベルの差が小さくても動き検出をおこないます。

%

動く物体が小さく検出できない時は、数字を小さくします。

ノイズフィルター

画面全体のノイズが多い場合、数字を大きくします。

基準画像を更新します。



選択すると、自動的に指定時間間隔で基準画像を更新します。

2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定 (4. 録画設定)

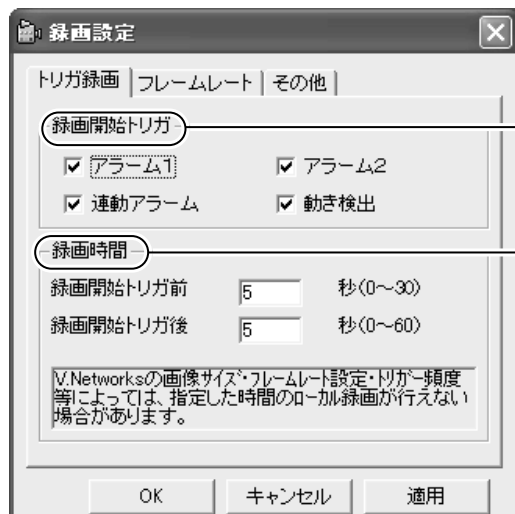
アラーム時に、カメラ映像を本機メモリに録画するローカル録画に関する設定をおこないます。

(MPEG4 ではこの設定はおこなえません)

- アラーム時の録画方式には、カメラ映像を本機メモリに保存する「ローカル録画」とパソコン上のハードディスク等に保存する V.Networks コントローラでの録画があります。P. 50 ページ

1. 「V.Networks Setup Tool」を起動し、「録画設定」を選択します。設定値を変更する場合は「適用」、次に をクリックします。

「トリガ録画」画面の設定



① ローカル録画を始めるアラーム入力信号「録画開始トリガ」を選択します。

② 「録画時間」を設定します。
アラーム入力の前それぞれに最大 60 秒まで設定できます。

で注意

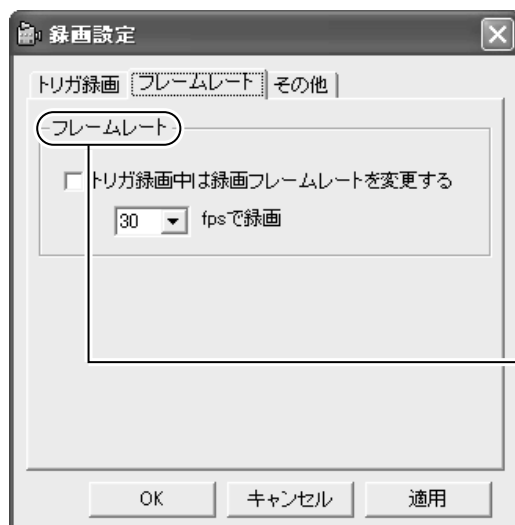
- 「録画開始トリガ前」と「録画開始トリガ後」の両方を「0」に設定することはできません。
- 本機メモリ容量の関係上、トリガ前後の設定時間と実際の最大録画可能時間が異なります。

(例)

・ 160 × 120 (30 fps) / 320 × 240 (15 fps) / 640 × 480 (5 fps) で圧縮率 2 の場合
実際の最大録画可能時間は以下のようになります。
トリガ前 5 秒・後 30 秒～トリガ前 0 秒・後 35 秒
・ 最大時間設定 (トリガ前 30 秒・後 60 秒) を録画するには、以下のように設定してください。

画像サイズ : 160 × 120
フレームレート : 30 fps
圧縮率 : 7

2. 「フレームレート」画面の設定



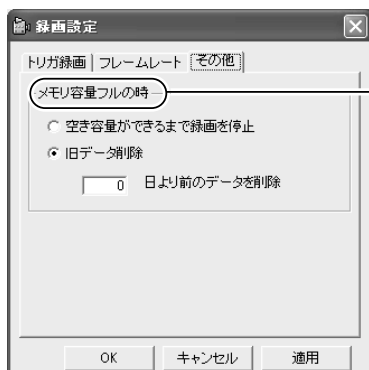
③ ローカル録画時のフレームレートを設定する場合は、「トリガ録画中は録画フレームレートを変更する」を選択し、フレームレートを選択します。

デフォルトは 30 fps

(可変値 30, 15, 10, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1)

2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定 (4. 録画設定) (つづき)

3. 「その他」画面の設定



④ 録画できるメモリ容量がいっぱいになった時の録画動作を設定します。次の2つの動作から選択できます。(内部メモリの容量は8 MB です)

- ・メモリに「空き容量ができるまで録画を停止」する。
- ・指定日数以上経過した「旧データを削除」する。(0に設定した場合は古いデータから削除されます)

メモ

録画時間について

最大録画時間は、録画のフレームレートと画像サイズによって決まりますが、圧縮率や被写体によっては、指定された時間録画ができない場合があります。

録画ファイルについて

トリガ録画のファイルは、トリガ発生ごとに作成されますが、トリガ発生が連続し、録画時間が連続する場合は、ひとつのファイルになります。

ご注意

ローカル録画のパソコンへの取り込みについて

ローカル録画した画像と時刻設定は、本機の揮発性メモリに記録されるため、電源を切ると消えてしまいます。

ローカル録画されたRec ファイルを、自動的にFTP サーバーにアップロードすることもできます。(※ 32 ページ「Rec ファイルFTP」項目)

パソコン上のハードディスク等に保存する V.Networks コントローラの録画であれば、本機電源が切れても、保存済みのファイルは消えずに残すことができます。

ローカル録画をパソコンに取り込みたい場合は、以下の手順でおこなってください。



① 「ローカル録画参照」を選択します。

② 取り込みたいファイルを選択します。

③ 選択ファイルの上で右クリックし「PC への取り込み」を選択します。

ローカル録画が開始されたかどうかは録画設定の録画開始トリガにチェックを入れ、V.Networks コントローラの「アラーム設定」の「メッセージ表示」等を設定することにより知ることができます。 (※ 50 ページ

2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定 (5.FTP クライアント設定)

本機には、静止画像を既存のFTPサーバーへ周期的にアップロードする「FTPクライアント機能」があります。この機能により、カメラ画像を多くの人（場所）で確認することができます。

(MPEG4 ではこの設定はおこなえません)

1. 「V.Networks Setup Tool」を起動し、「FTP クライアント」を選択します。

「FTP クライアント設定」画面が表示されます。

① 動作

FTP 機能を有効にするには、“有効”をチェックします。

② Rec ファイル FTP

ローカル録画された *.rec ファイルを、自動的に FTP サーバにアップロードする機能を使用するには、「有効」をチェックします。

メモ

- Rec ファイルが 1 個できた時点で、自動的にアップロードを開始します。
- REC ファイルの削除は、録画設定画面「メモリ容量フルの時」の設定に従って削除されます。
- 本機の内蔵メモリ容量が、REC ファイル作成に十分な空き容量がない場合、「Rec ファイル FTP」はおこなわれません。「Rec ファイル FTP」を有効にするときは、「メモリ容量フルの時」の設定を「0 日より前のデータを削除」設定することをお勧めします。
- Rec ファイルのアップロードを開始すると、静止画のアップロードは一旦停止します。

2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定 (5.FTPクライアント設定) (つづき)

③ ユーザ名

FTPサーバとの認証に使用するユーザ名を入力します。“anonymous” に設定することもできます。

④ パスワード

FTPサーバとの認証に使用するパスワードを入力します。入力は“*”で表示されます。

⑤ FTPサーバIPアドレス

アップロード先となるFTPサーバのIPアドレスを入力します。

⑥ FTPポート

アップロード先のFTPポート番号を入力します。
通常は“21”を入力します。

⑦ FTPフォルダ

アップロード先となるFTPサーバ側のフォルダ名称を入力します。
空欄の時は、デフォルトフォルダにアップロードされます。

⑧ アップロード周期

FTPサーバに画像をアップロードする周期を指定します。
(設定値：0秒～84600秒)
「毎回コネクションを切断する」を選択すると、画像を1枚アップロードするごとに、コネクションを切断します。

⑨ エラー処理

(接続エラー時)

VN-C10のTCPコネクション、FTP認証に関するエラーが出た場合の動作を指定します。

無期限リトライ：VN-C10の電源が切られるまでリトライし続けます。

※ 分間リトライ：設定時間内、リトライし続けます。

設定値(※) 1分～600分

(転送エラー時)

画像のアップロード中に、ファイルの転送エラーが発生した場合の動作を指定します。

FTP機能無効:自動的にFTP機能を無効にします。

メモ

再開するには、①[動作]を“有効”にしてください。

⑩ ファイル名称

* .jpg：この項目をチェックすると、*に入力したファイル名でアップロードします。

メモ

最新画像は上書きされるため、FTPサーバに残る画像ファイルは1枚です。

タイムスタンプ：本機内部の時刻をファイル名としてアップロードします。

メモ

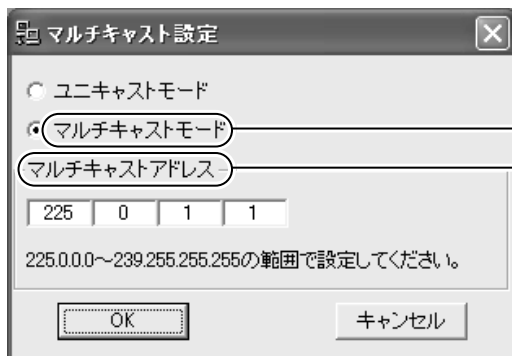
- 時刻設定画面で、正しい時刻設定を必ずおこなってください。
- アップロードされた画像ファイルが全てFTPサーバに残ります。

2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定 (6. マルチキャスト)

マルチキャストモードを指定すると、ネットワーク上の複数パソコンへ、一度に同じ画像データを、フレームレートが低下することなく送信することができます。

- ・ダイヤルアップなど低帯域環境では、ユニキャストモードをご利用ください。
- ・MPEG4 ではこの設定はおこなえません

1. 「V.Networks Setup Tool」を起動し、「マルチキャスト設定」を選択します。
「マルチキャスト設定」画面が表示されます。



① 「マルチキャストモード」を選択します。

② 「マルチキャストアドレス」を入力します。

— マルチキャストについて —

- マルチキャストアドレスは 225.0.0.0 ～ 239.255.255.255 の範囲で設定してください。また同一システム上に同一マルチキャストアドレスを設定しないでください。
- マルチキャストモードのVN-C10を、ルータ越しに見る場合は、次のいずれかの動作環境または機器設定が必要になります。
 - ① ルータがIGMP Ver2に対応しており、当該マルチキャストの送信開始および送信中止と同期し、通過設定が動的に変更できること。
 - ② ルータがIGMP Ver2に対応していない場合にはそのルータに対して当該マルチキャストを静的に通過設定すること。

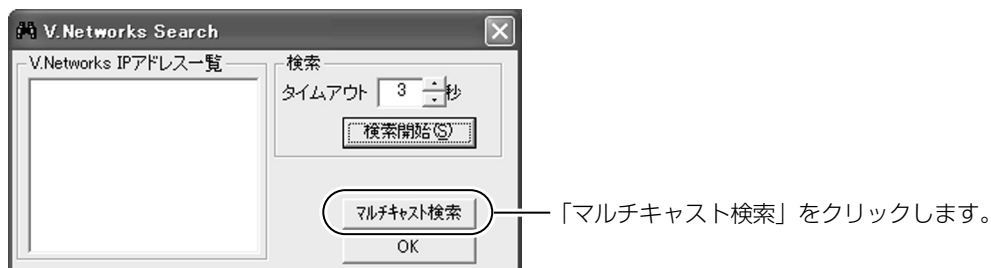
2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定 (6. マルチキャスト) (つづき)

ネットワークに接続されているVN-C10のマルチキャストアドレスを検索することができます。

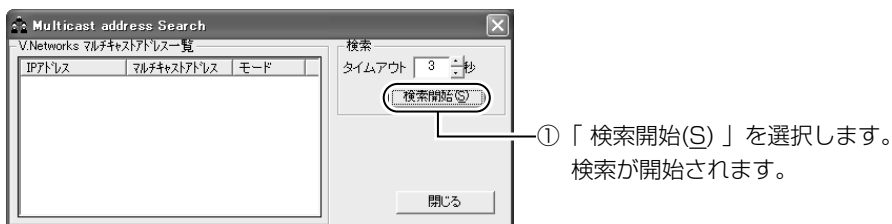
1. 「V.Networks Setup Tool」を起動します。



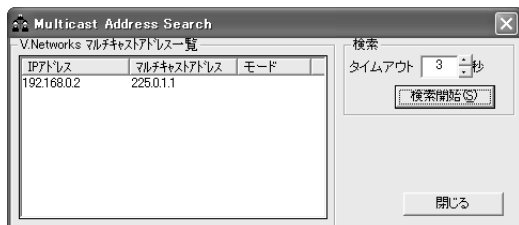
2. 「V.Networks Search」の画面が表示されます。



3. 「Multicast address Search」の画面が表示されます。



4. 検索結果が表示されます。



2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定 (7. 圧縮方式)

画像の圧縮方式を JPEG、MPEG4 から選択できます。

1. 「V.Networks Setup Tool」を起動し、圧縮方式を JPEG か MPEG4 から選択します。
MPEG4 の場合は、「MPEG4 設定」を選択します。



- ① MPEG4 のフレームレートを設定します。数字を大きくすると、動画画像がなめらかになります。
(可変値：30、15、7.5)
- ② MPEG4 のビットレートを設定します。数字を大きくすると、高画質になります。
(可変値：64 ~ 2048)

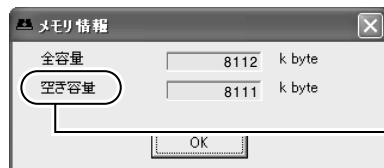
ご注意

- MPEG4 の場合、同時に接続できるクライアントは 4 台までです。5 台目以降のクライアントが接続すると、「ストリーミングサービスを開始できませんでした。」というメッセージが表示されます。
- MPEG4 モードにおいてフレームレートが 30 fps に設定されている場合、被写体によっては、一瞬横引きノイズが出ることがありますが故障ではありません。

2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定 (8. メモリ容量)

本機のメモリ容量を確認できます。

1. 「V.Networks Setup Tool」を起動し、「メモリ情報」を選択します。



- ① 空き容量を確認します。
(本機の全容量は、約 8000 k byte です。)

2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定 (9. Web)

指定された html ファイルを Web ブラウザのデフォルトページとして使用できます。

1. 「V.Networks Setup Tool」を起動し、「Web」を選択します。



① HTTPデフォルトページの使用を設定します。
“有効”にチェックしたときデフォルトページに使用する html ファイルを指定します。

② ポート番号を設定します。

③ ごく一部のプロキシサーバは cgi をキャッシュする場合があるため、設定が正常におこなえない場合があります。このような場合は“キャッシュ禁止”にチェックします。

ご注意

- 本機の HTTP Server のポート番号をデフォルトの 80 番以外に設定し、セキュリティを高めることが可能です (1 ~ 65535 の範囲で指定可能、ただし 21 および 554 は除く)。HTTP ポート番号を変更した場合は、Web ブラウザより `http://192.168.0.2:12345` または、`http://192.168.0.2:12345/index.html` というようにアクセスします (ポートを 12345 番に変更した場合)。HTTP ポート番号がわからなくなった場合は、付属のセットアップツールで確認してください。
- デフォルトページとは、Web ブラウザより `http://192.168.0.2/` などと IP アドレスを指定した場合に表示されるページです。
本機能を“有効”に設定していても、ここで指定した html ファイルが存在しない場合は、`http://192.168.0.2/` という指定をすると 404: Not Found などと Web ブラウザのメッセージが表示されますので正しく指定してください。

2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定 (10.FTPサーバ)

FTP クライアントソフトウェアで本機へHTML ページや gif、jpeg 画像などをアップロードすることができます。

1. 「V.Networks Setup Tool」を起動し、「FTPサーバ」を選択します。



FTP サーバ機能 “有効” または “無効” を設定します。

メモ

- FTP ユーザ名は「Administrator」固定です。またFTPパスワードは、管理者レベルパスワードを用いてください。
- FTP 用のユーザエリアは約 300 kB 用意されています。
- アップロードしたファイルはすべて /user フォルダ直下に配置されます。
Web ブラウザからは `http://192.168.0.2/user/aaa.html` のようにアクセス可能です。
(FTP で格納した `aaa.html` を参照する場合 192.168.0.2 は本機の IP アドレスです)
- 本機の FTP サーバー上に「フォルダ」を作成することはできません。ファイルのアップロード、削除、リネームのみ可能です。

2-4 「V.Networks Setup Tool」での設定（11.時刻設定）

VN－C10の基準となる時刻を設定します。NTPを使用することもできます。

1. 「V.Networks Setup Tool」を起動し、「時刻設定」を選択します。

NTPを使用しないで設定する方法とNTPを使用して設定する方法があります。

NTPを使用しない

① 日時、時刻を設定します。

② パソコン時刻を参照できます。

NTPを使用する

① 使用するNTPサーバのIPアドレスを入力します。

② タイムゾーンを設定します。

③ NTPサーバからの現在時刻を取得する間隔を設定します。

メモ

- NTPを使用するときは、NTPサーバが必要です。
- ローカル録画中に時刻を変更すると、ローカル録画期間が正確に判断できず、指定した秒数の録画がおこなえない場合があります。
- VN-C10の電源を切ると、設定時刻は初期値（1900年1月1日）に戻りますので、NTPサーバを使用することをお奨めいたします。NTPサーバが使用できない場合は、電源投入時、時刻を再設定してください。
- Windows XP Home Edition, Windows XP Professional は標準インストール状態で NTP Server 機能が有効です。
- Windows 2000 では、以下の設定で NTP Server 機能が有効になります。

1. 以下のレジストリ値を1にする。（デフォルトは0）

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\W32Time\Parameters\LocalNTP

レジストリ編集作業は大変危険を伴う作業です。

安全のためにレジストリのバックアップを保存するなど、ご自分の責任において編集してください。当社では万一の事故に対する責任は一切負いません。

2. Windows Time Service を再起動（＝停止してから開始）する。

「管理ツール」の「サービス」から Windows Time Service のプロパティを開いておこないます。

2-5 「V.Networks コントローラ」で接続カメラを登録

インストールした「V. Networks コントローラ」で接続カメラを登録します。

1. 「スタート」、「すべてのプログラム」、「V. NETWORKS」、 「V.Networks コントローラ」を選択し「V.Networks コントローラ」を起動します。

① 「ファイル」、「新規作成」を選択します。



2. 「新規作成」が開きます



① 「IP アドレス」を入力します。

メモ

DHCP 環境で使用している場合は、DHCP サーバが本機に割り当てた IP アドレスを入力してください。

② 「V. Networks 名称」を入力します。設置場所や番号など、後で選択しやすい名称を入力してください。(1 ~ 40 文字)

③ ここで指定したフォルダ内に②で入力した名称の録画ファイルが保存されます。

④ 自動的に録画を開始する設定がおこなえます。

2-5 「V.Networks コントローラ」で接続カメラを登録（つづき）

3. 「接続方法」を選択し、VN-C10と接続します。

新規作成

IPアドレス: 192 168 0 2

V.Networks名称: カメラA

録画ファイル保存先
C:\Program Files\V.NETWORKS\V.Networksコントローラ

接続方法

☒ LAN接続 ☐ ダイアルアップ接続

接続先
[]

新規 編集

☐ 自動的に接続

接続と同時に

☒ 録画開始しない ☐ 録画開始する

OK キャンセル

LAN 接続の場合

- ① 「LAN接続」を選択し、**OK** をクリックします。
- ② 「設定確認」画面の表示されますので、**OK** をクリックすると、VN-C10と接続されます。

ダイアルアップ接続の場合

- ① 「ダイアルアップ接続」を選択します。
- ② 「新規」を選択し、登録をおこないます。登録方法は、ご使用のパソコンの「取扱説明書」のダイアルアップ接続方法をご覧ください。
- ③ **OK** をクリックすると、「設定確認」画面が表示されます。
- ④ 「設定確認」画面で、**OK** をクリックすると、VN-C10と接続されます。

設定確認画面

V.Networksの設定

次の接続先を設定します。よろしいですか？

IPアドレス: 192.168.0.2

V.Networks名称: カメラA

V.Networksタイプ: VN-C10

V.Networks ID:

録画ファイル保存先
C:\Program Files\V.NETWORKS\V.Networksコントローラ\カメラA

接続方法

☒ LAN接続 ☐ ダイアルアップ接続

接続先
[]

新規 編集

☐ 自動的に接続

接続と同時に

☒ 録画開始しない ☐ 録画開始する

OK キャンセル

メモ

DHCP 設定のVN-C10を接続するには、下記のどちらかの環境が必要です。

- DHCP サーバが存在しない環境
- VN-C10に割り当てられたIPとMACアドレスの対応が明確になるDHCPサーバが存在する環境

準備 (Step 3 調整)

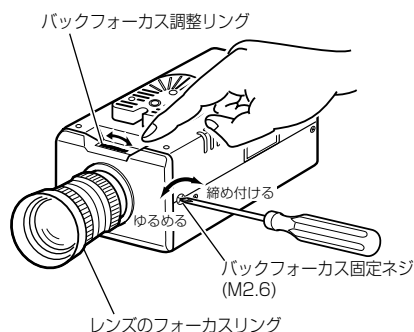
3-1 バックフォーカス調整

工場出荷時、CS マウントで最も適用範囲の広い点に調整されていますが、ズームレンズ、C マウントレンズを使用する時や、レンズのフォーカスリングでピントが合わない時は再調整が必要です。必要なときには下記方法により、バックフォーカスを調整してください。

正確なバックフォーカス調整をするために、アイリス調整やND フィルターを使用し、レンズアイリスを解放にした状態で下記調整をおこなってください。

(ND フィルターとは、レンズに入射する光量を全波長域均等に減少させる働きをするフィルターです。)

背面部 MONITOR OUT 端子にモニターテレビを接続し下記調整をおこなってください。



〈固定焦点レンズの場合〉

レンズのフォーカスリングを調整してピントが取れないときは調整をしてください。

1. バックフォーカス固定ネジをプラスドライバーで反時計方向に回してゆるめます。
2. 撮影する被写体あるいは被写体より離れた位置の細かい絵柄を撮影します。
3. レンズのフォーカスリングを ∞ にします。
4. バックフォーカス調整リングを回してピントを最良にします。
5. バックフォーカス固定ネジを時計方向に回して締め付け、確実に固定します。

〈ズームレンズの場合〉

ズーミング操作 (望遠～広角) をして、ピントがずれる時は調整をしてください。

1. バックフォーカス固定ネジをドライバーで反時計方向に回してゆるめます。
2. 撮影する被写体あるいは被写体より離れた位置の細かい絵柄を撮影します。
3. ズームを望遠にし、レンズのフォーカスリングを回してピントを合わせます。
4. ズームを広角にしてバックフォーカス調整リングを回してピントを合わせます。
5. 3.4. を 2～3 回繰り返します。
6. バックフォーカス固定ネジを時計方向に回して締め付け、確実に固定します。

操作 (Step 4 V.Networks コントローラでの設定)

4-1 V.Networks コントローラの起動

インストールした「V.Networks コントローラ」でカメラ画像の確認がおこなえます。
また、カメラ画像の録画・再生操作やフレームレート設定などもおこなえます。

1. 「スタート」、「すべてのプログラム」、「V. NETWORKS」、 「V.Networks コントローラ」を選択し「V.Networks コントローラ」を起動します。



① カメラのプルダウンメニューから接続先を選択します。



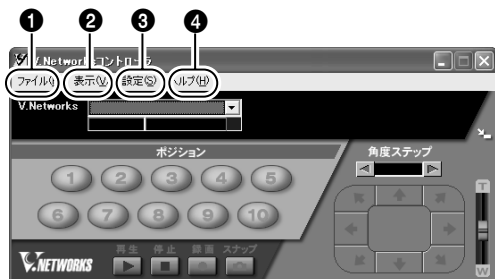
② カメラのライブ画像が表示されます。

メモ

- パスワードが設定されている場合は、正しいパスワードを入力してください。
- 本コントローラは、VN-C1,VN-C2,VN-C3,VN-C30 (JPEGのみ),VN-A1,VN-C10に接続可能です。
- MPEG4 モード時、同時に接続できるクライアントは4台までです。5 台目以降のクライアントが接続しようすると、「ストリーミングサービスを開始できませんでした。」というメッセージが表示されます。

4-2 「V.Networks コントローラ」で設定できる機能について

V.Networks コントローラでは、画像サイズやアラームに関する設定をおこなうことができます。



① ファイル

- 新規作成 : 新規にカメラを接続する場合は、新規ファイルを作成します。
- 削除 : 作成したファイルを削除します。
- 動き検出スタンバイ : 動き検出機能を有効にしたいカメラを選択します。
- 終了 : コントローラを終了します。

② 表示

- 画像サイズ : 画像の表示サイズを設定します。
 JPEG : 640 × 480
 320 × 240
 160 × 120
 MPEG4 : 320 × 240
 160 × 120
- 画像上下設定 : 画像の上下を逆に表示します。
 カメラを上下逆に設置する場合に設定します。
 (この設定はMPEG4ではおこなえません)

③ 設定

- 画像 : 圧縮率、画質の設定をおこないます。
- フレームレート : カメラ画像を 1 秒間に何枚送れるか設定します。
- アラーム通知登録 : この項目に ☒ チェックを入れるとアラーム動作が動作します。
- アラーム設定 : 各アラームごとに、アラーム動作を設定できます。
- タイムスタンプ : 保存ファイルの日付、時刻の表示に関する設定をおこないます。
- 登録情報変更 : 現在、接続されていないカメラの情報を変更することができます。

④ ヘルプ

- バージョン情報 : V.Networks コントローラのバージョンを確認します。

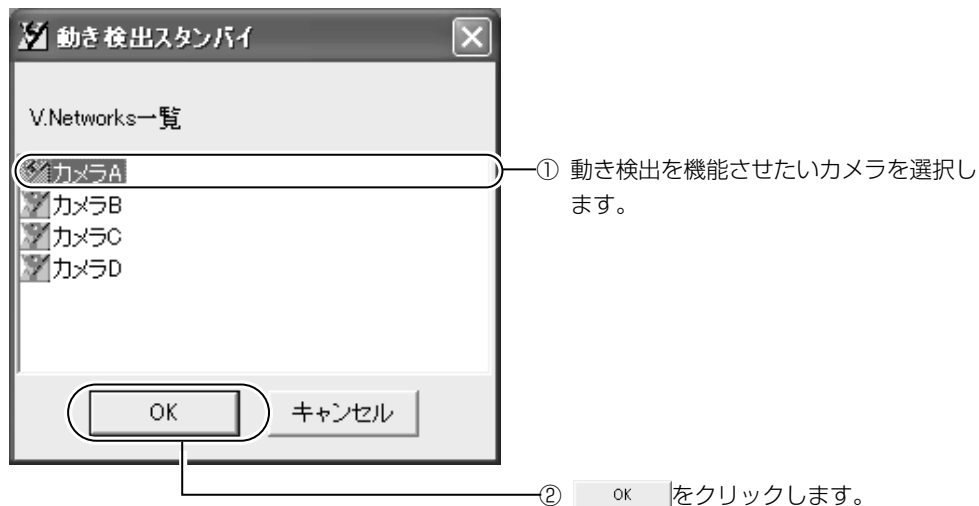
4-3 動き検出スタンバイ

「動き検出スタンバイ」は、V. Networks コントローラが起動状態で VN-C10 からの動き検出通知により、自動的に接続します。

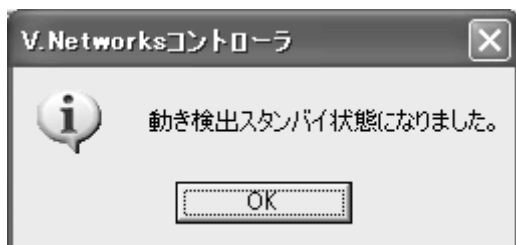
1. [ファイル]、[動き検出スタンバイ]を選択します。



2. カメラを選択します。



3. OK をクリックします。

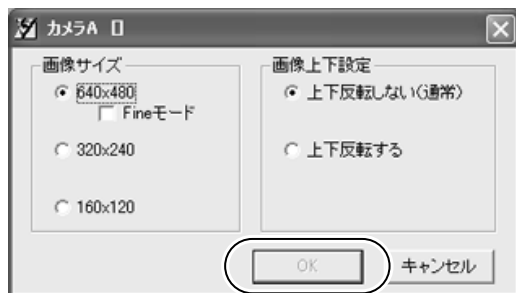


4-4 画像サイズと上下反転

動画ウィンドウの画像サイズと上下反転の設定を、V. Networks コントローラでおこないます。



1. [表示]を選択します。
2. [画像サイズ]、[画像上下設定]をおこないます。



メモ

- MPEG4では以下の設定はできません
・ 640 × 480
・ 上下反転する
- Fine モードに設定すると、細かな画像まで確認できます。
ただし、動きのある被写体の撮影には適しません。
(VN-C10ファームウェアバージョン 1.4 以降のみ)
- Fine モードは640×480 サイズのみ適応されます。

OK をクリックします。

メモ



動画ウィンドウ上で右クリックし、設定変更をおこなうことができます。
(MPEG4 ではこの設定はできません)
画像サイズを設定します。

MAC アドレス、IP アドレス、機種名、ファームウェアバージョンを表示します。

チェック ☒ があると、動き検出エリアのマス目が表示され動き検出部は赤く表示されます。

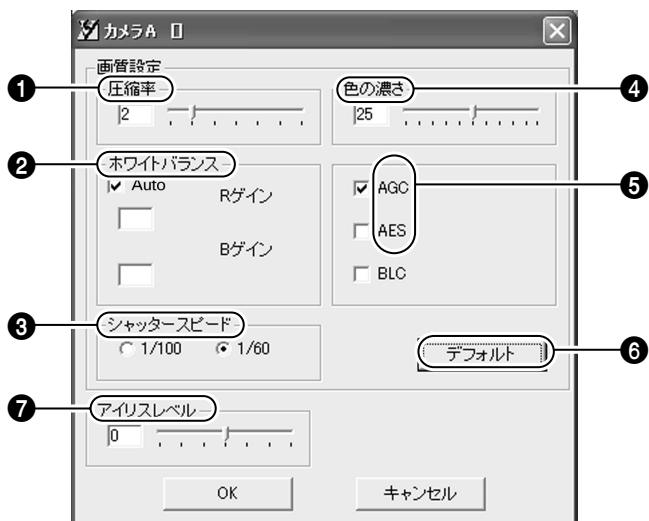
4-5 画質設定

画像の圧縮率、ホワイトバランスなど画質に関する設定を「V. Networks コントローラ」でおこないます。

1. [設定]、[画像]を選択します。



2. 設定値を変更します。(機能説明は 次ページ)



3. **OK** をクリックします。

4-5 画質設定 (つづき)

① 圧縮率

JPEG 画像の圧縮率を設定します。
数字が小さいと、圧縮率は小さく、画質は向上しますがデータ量は多くなります。
(可変値: 1 ~ 7)
(工場出荷時 2)
MPEG4 では設定できません

② ホワイトバランス

Auto : 色合いの基準となるホワイトバランスを自動的に調整します。
R ゲイン : 手でホワイトバランスの赤味を強調します。
(可変値: 0 ~ 100)
B ゲイン : 手でホワイトバランスの青味を強調します。
(可変値: 0 ~ 100)
(工場出荷時 Auto)

③ シャッタースピード

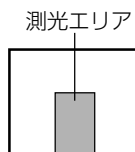
1/60 : 通常はこの位置で使います。
1/100 : 商用電源周波数 50Hz 地域で蛍光灯照明下によるフリッカー現象 (明るさのチラツキ) を軽減します。
(工場出荷時 1/60)

④ 色の濃さ

色の濃さを調整します。
数字を小さくすると、色が薄くなります。
(工場出荷時 25)

⑤ AGC,AES,BLC

AGC : 明るさに応じて自動的にゲインを調整します。
AES : 明るさに応じて自動的にシャッタースピードを調整します。マニュアルアイリスレンズ使用時のみ設定してください。
BLC : 被写体の背景に明るい光源がある場合に設定します。



(工場出荷時 AGC のみ ON)

メモ

- AGCが「OFF」に設定されている場合は、AESを「ON」にできません。
- シャッタースピードが「1/100」に設定されている場合は、AESを「ON」にできません。
- AGCが「OFF」に設定されている場合は、BLCを「ON」にできません。
- DC IRISレンズ使用時は、AESを使用しないでください。AESを使用するとフリッカーが出ることがあります。

⑥ デフォルト

画質設定に関する設定値を全て工場出荷時の値に戻します。
(アイリスレベルは戻りません)

⑦ アイリスレベル

DC IRISレンズを使用の時、明るさを調整します。
数字を小さくすると、アイリス (絞り) を閉じ、暗くなります。

4-6 フレームレート

1 秒あたりのライブ画像の更新スピードを表わすフレームレートの上限を「V. Networks コントローラ」で設定します。

（送信フレームレートの V.Networks コントローラでの設定は JPEG のみ可能です。
MPEG4 ではセットアップツールで設定します。☞ 36 ページ）

1. [設定]、[フレームレート]を選択します。



2. [送信フレーム数]を設定します。



VN-C10から1秒間に送られる画像の上限を設定します。
(工場出荷時 15)

メモ

実際に受信および表示される毎秒のフレーム数は、パソコンの性能、画像の圧縮率および LAN 環境に左右されます。

複数の処理で LAN を共有している場合(特に普段ネットワークに比較的大きな負荷がかかっている環境の場合)は送信フレーム数を下げてください。

ご注意

ローカル録画のフレームレートは本設定ではおこなえません。ローカル録画のフレームレートは V.Neteorks Setup Tool で設定します ☞ 30 ページ

4-7 アラーム設定

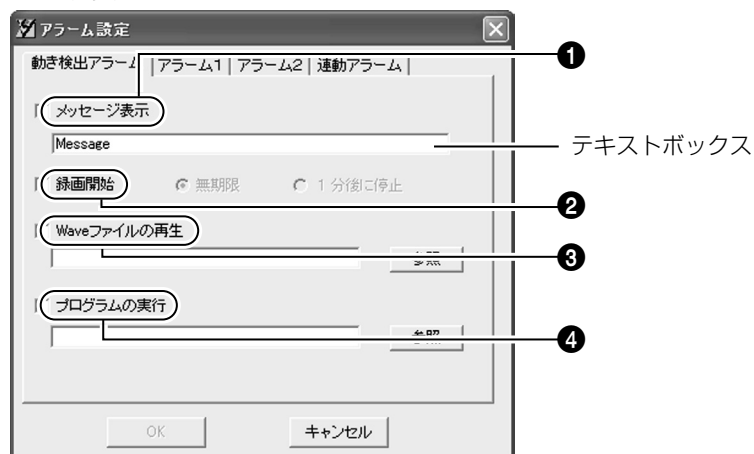
アラーム信号を受けた時の動作を「V. Networks コントローラ」で設定します。

1. [設定]、[アラーム設定]を選択します。



2. 設定値を変更します。(機能説明は 次ページ)

設定は「動き検出アラーム」、「アラーム 1」、「アラーム 2」、「連動アラーム」についておこないます。



(連動アラーム時 ①、② は設定できません。)

3. 設定が終わったら をクリックします。

4-7 アラーム設定 (つづき)

① メッセージ表示

アラームが入ると、テキストボックスに入力した文字を表示します。
(入力文字数は最大半角 100 文字です)

② 録画開始

アラームが入ると、録画を開始します。
無制限 : 録画は、停止ボタンを押すまでおこなわれます。
1 分後に停止 : 録画は 1 分後に停止します。

メモ

- “1 分後に停止”モードはハードディスクの容量を保護するためです。
- “1 分後に停止”モードでは、アラーム入力前に録画をおこなっていた場合でも、1 分後には録画を停止します。

③ Wave ファイルの再生

アラームが入ると、指定した Wave ファイルを再生します。
指定は、参照ボタンからおこなうことができます。

メモ

容量の大きい Wave ファイル (.wav) を選択した場合、パソコンの性能により、アラーム動作が遅れることがあります。

④ プログラムの実行

アラームが入ると、指定したプログラムを実行します。
指定は参照ボタンからおこなうことができます。

メモ

アラーム動作について

設定したアラームを動作させるためには、下記設定が必要です。

1. 「V. Networks コントローラ」、[設定]メニューで「アラーム通知登録」にチェックが付いていること。(☞ 44 ページ)
2. 「V.Networks Setup Tool」、[アラーム設定]で各アラーム設定が「有効」になっていること。(☞ 26 ページ)

連動アラームについて

連動アラームを設定した場合、後発のアラーム動作はおこないません。

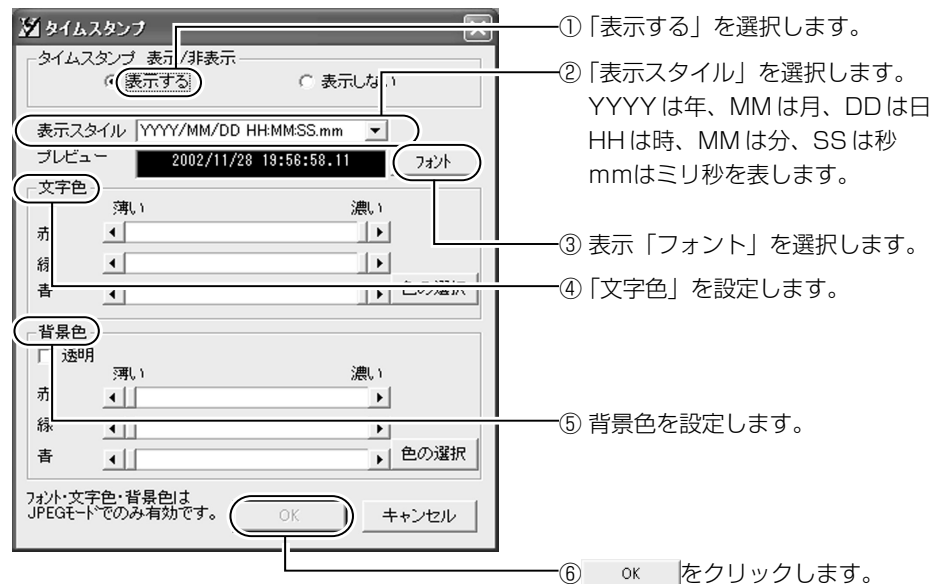
4-8 タイムスタンプ

カメラ画像に日付・時刻を表示するタイムスタンプについての設定を「V.Networks コントローラ」でおこないます。表示した日付・時刻は録画されます。

1. [設定]、[タイムスタンプ]を選択します。



2. 設定をおこないます。



メモ

- MPEG4 では、③、④、⑤の設定はできません。
- 動画あるいは再生ウィンドウ上で「shift」キーを押しながら左クリックすると、クリックした場所にタイムスタンプが表示されます。
- MPEG4 のタイムスタンプは動画ウィンドウのタイトルバーに表示されます。

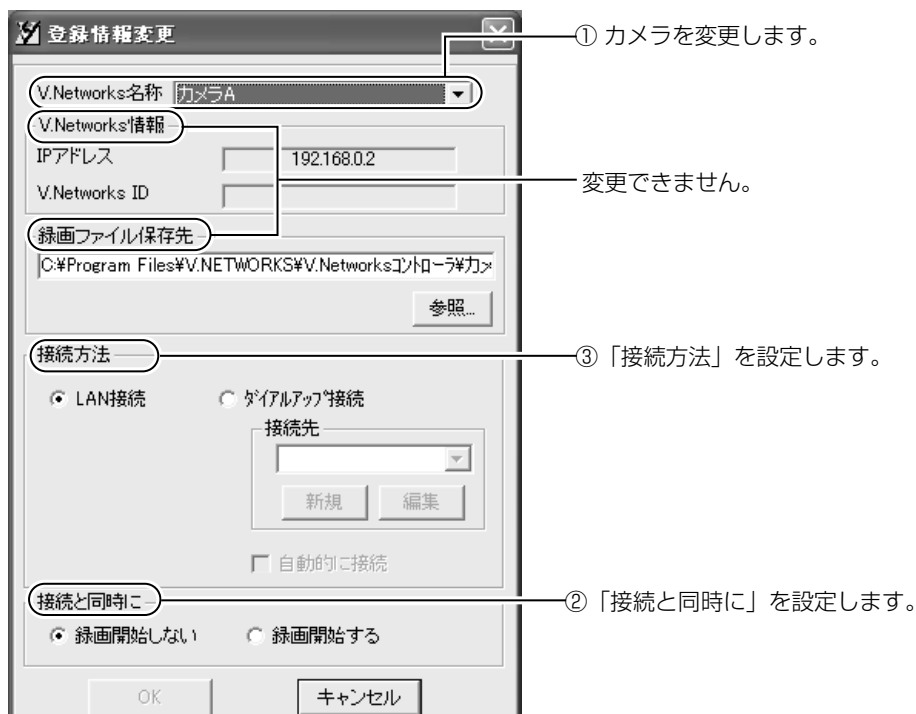
4-9 登録情報変更

設定したカメラの接続方法など変更を「V.Networks コントローラ」でおこなうことができます。

1. [設定]、[登録情報変更]を選択します。



2. 設定をおこないます。



3. 変更が終わったら をクリックします。

ご注意

接続中のカメラ情報の変更はできません

操作 (Step5 V.Networks コントローラでの操作)

5-1 V.Networks コントローラで操作できる機能について

V.Networks コントローラでは、カメラの選択、カメラ画像の録画・再生などをおこなうことができます。

(コントローラ画面は他の V.Networks と共通ですので、VN-C10 からは操作できない機能があります)



① カメラ

接続しているカメラの名称を表示します。

▼(プルダウンメニュー) で接続カメラを選択することもできます。

② 再生

④ で保存されたファイルを選択し再生します。アラーム時に録画されたファイルを再生する場合も、このボタンを選択します。

③ 停止

録画を停止します。

④ 録画

選択すると、録画を開始します。録画ファイルは①の名称のファイルに保存されます。録画中は①に“録画中”と表示され表示画像にも“REC”と表示されます。

⑤ スナップ

表示中の画像を1フレームだけ記録し保存します。

⑥ サイズ

「V.Networks コントローラ」画面の表示サイズを小さくします。(下図)

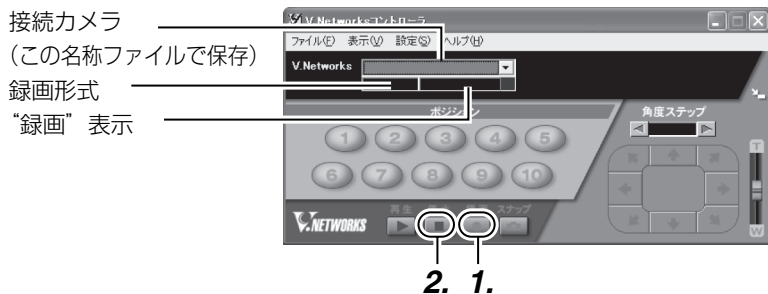
小さい表示画面



5-2 録画・停止

V.Networks コントローラで、カメラ画像をファイルに保存できます。

1. 「録画」 ボタンをクリックします。



(動画ウィンドウ)



2. 「停止」 ボタンをクリックします。

録画は停止し、“録画”、“REC” 表示も消えます。

(「スナップ」ボタンをクリックすると、表示中の画像を1フレームだけ録画します。

☞ 59 ページ)

メモ

- 長時間の連続録画はしないでください。長時間の録画ファイルを再生しようとする時、使用するパソコンによっては、記憶容量が不足し再生できなくなることがあります。
- 録画ファイルの名称は、変更しないでください。

5-3 再生

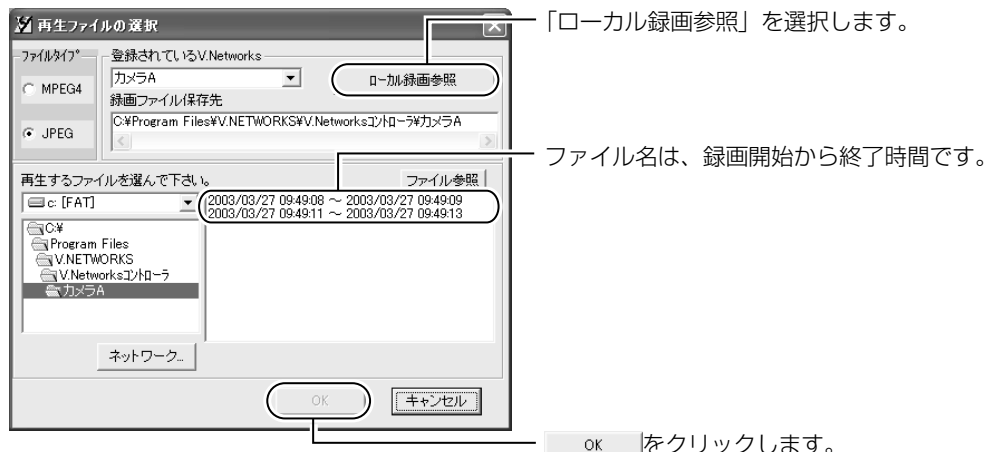
V.Networks コントローラの「録画」で保存されたファイルを選択し、再生します。
(再生と動画像表示は同時にできません)

1. [再生]ボタンをクリックします。



「再生」ボタン

2. 「再生ファイルの選択」画面で、再生したいファイルを選択し、**OK** をクリックします。ローカル録画を再生する場合は「ローカル録画参照」をクリックしてからファイルを選択します。



5-3 再生 (つづき)

3.  をクリックします。



4. 「録画再生」画面が表示されます。



スライダー

- ・ 再生時間とともに右に移動します
- ・ マウスでドラッグすることができます。

「停止」ボタン

「一時停止」ボタン

「再生」ボタン

5-4 録画・再生についてのご注意

録画再生時間

- ・ V.Networks コントローラで 2 GB を超える録画および録画ファイルの再生はおこなわないでください。通常のWindowsアプリケーションでは、2 GBを超えた部分のランダムアクセスは、おこなえません。

参考：2 GB の録画時間の目安

(JPEG 時) (5Frame/s の場合)

画像サイズ	画像 1 枚あたりの容量	録画時間の目安
160 x 120	約 5 kB	20 時間
320 x 240	約 15 kB	6 時間
640 x 480	約 50 kB	2 時間

(MPEG4 時)

ビットレート	録画時間の目安
64 kb/s	65 時間
384 kb/s	10 時間
2048 kb/s	2 時間

5-5 スナップショット

V.Networks コントローラで表示中の録画あるいは再生画像を静止画ファイルとして保存することができます。

1. 「スナップ」 ボタンを押します。



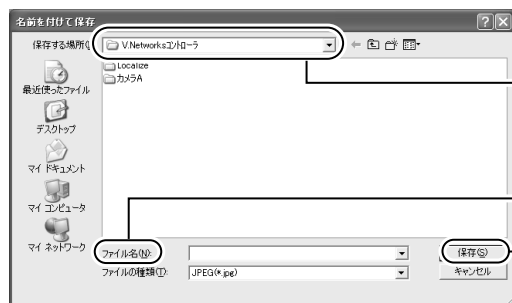
「スナップ」 ボタン

2. 「スナップ表示」 画面が表示されます。



① [ファイル]、[保存]を選択します。

3. 「保存ファイル」 画面が表示されます。



① 保存するフォルダを指定します。

② ファイル名を入力します。

③ 「保存」を選択すると、スナップショットが保存されます。

メモ

スナップショットで保存できるファイルは

- JPEG モード時—JPEG ファイル
- MPEG モード時—BMP ファイル

メモ

他のビューアソフト

- VN-C10を用いて保存した静止画ファイルは、一般のビューアソフトで表示させることができます。ただし、上下反転表示をさせている画像は反転表示となりません。また、再現される色が異なる場合があります。

操作 (Step 6 Web ブラウザでの操作)

添付のコントローラソフトだけでなく、Web ブラウザでも静止画・動画の閲覧／各種設定がおこなえます。

Web ブラウザでは MPEG4 画像は閲覧できません。又、画像上下反転機能もサポートしていません。

6-1 動作環境

本機を Web ブラウザで閲覧・操作するためには次の環境が必要です。

パソコンは、本取扱説明書の動作環境 (5 ページ) を満たしていることが必要です。

以下の Web ブラウザが起動しているパソコン

- ・ Java スクリプト及びフレームに対応しているもの、Netscape4.x または Internet Explorer4.x、5.x、6.x、に対応しています。
- ・ CPU 性能、必要メモリ容量などは、ご使用の Web ブラウザの推奨値をご覧ください。
大画面でのスムーズな動画表示をさせるには Web ブラウザの推奨値よりも十分に余裕をもった性能が必要です。
また、256 色モード等では搭載カメラの映像が正しく表示されません。
- ・ Internet Explorer の場合には、Java が正しく実行できる環境 (Microsoft VM) が必要です。

LAN 環境

- ・ 本機は、HTTP プロトコルを使用した Web サーバとして動作します。
DNS (Domain Name System) が使用できる環境であればホスト名称によるアクセス・リンクが可能です。
- ・ クロスケーブルを使用することによってパソコンと本機を直接 1:1 で接続することも可能です。(まれにご使用の LAN ボードでクロスケーブルの使用が認められていない場合がありますのでご確認ください。)

メモ

Web ページ画像について

本取扱説明書に記載されている Web ページ画面は、VN-C10 内部の Web ページデータ (搭載カメラによる撮影画像を含む) が Web ブラウザの Web ページ閲覧表示機能によって表示されたものとなります。

そのため、Web ブラウザの種類や設定の違いで表示される Web ページのフォーマットや文字フォントに違いが発生する場合があります。

万一、画面内の項目が全て表示されずに使用上支障がある場合には、ウィンドウをリサイズする等、全項目を表示させた上でご使用ください。

本書では Internet Explorer の Web ページ閲覧表示画面を用いて説明しています。

Internet Explorer 使用の場合

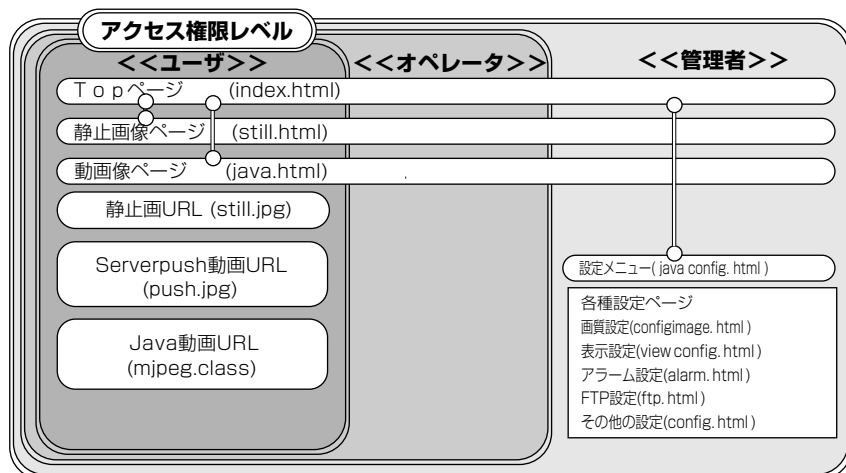
- ・ パスワードを変更したときに、パスワード入力確認ウィンドウでパスワードを2回たずねられるときがあります。このような場合、同じパスワードを2回続けて入力してください。

Netscape 使用の場合

- ・ VN-C10 の動画ページを表示しているとき、Netscape のウィンドウサイズを変更しても Web ページの内容が更新されません。このような場合、Netscape の [更新] ボタンをクリックして Web ページの「更新」をおこなってください。

6-2 アクセス権限レベル

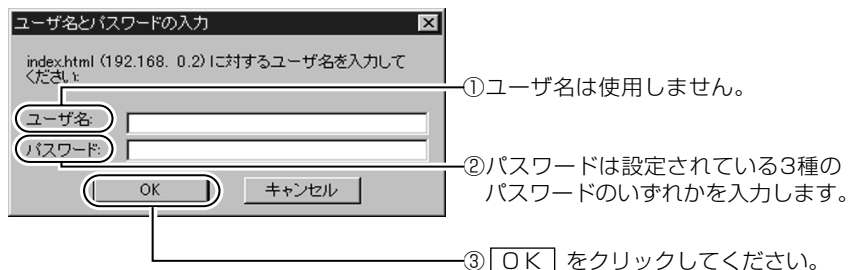
VN-C10内部のURL（Webページ）構成図です。



Topページ： http://*****/index.html (****部はVN-C10を示すURL)
このページはVN-C10の各Webページへのリンクを目的としています。

アクセス権限の認証

パスワードが認定されている場合は、ユーザ名とパスワードの入力要求（アクセス権限の認証）が表示されます。



メモ

閲覧表示の接続場所（URL：Uniform Resource Locator）の登録をお勧めします。お使いになられるWebブラウザからVN-C10のWebページの閲覧表示をすばやく行えるようにするために、設定したIPアドレスまたはDNSホスト名称での閲覧表示のアクセス・テスト時にURL情報の登録を行うようにしてください。

Netscapeでは「ブックマーク」、Internet Explorerでは「お気に入り」と表現されているものがこれにあたります。VN-C10のWebページの閲覧表示中にWebブラウザの操作メニューより「追加」の操作を行ってください。

操作 (Step 6 Web ブラウザでの操作)

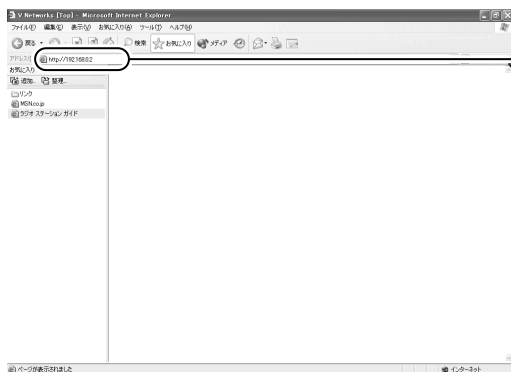
6-3 Web ブラウザの起動

Webブラウザで閲覧場所に工場出荷時のVN-C10のWebページアドレスを指定してください。(工場出荷時のIPアドレスを直接指定することによりWebブラウザがVN-C10 Top ページの閲覧表示をおこないます。)

メモ

インターネットへのアクセスにプロキシサーバの設定がされている場合は直接指定ができない場合があります。このような場合は、直接指定できるようプロキシ設定の変更をおこなってください。

1. Web ブラウザを起動します。



[http://192.168.0.2/index.html]

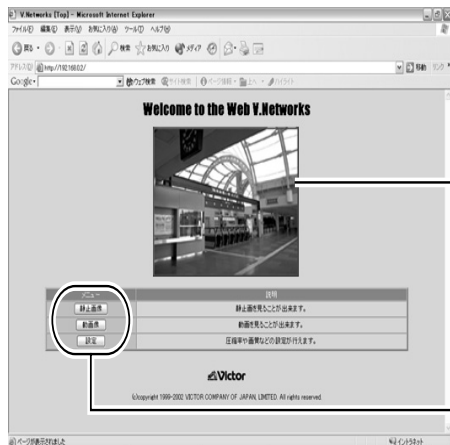
メモ

この取扱説明書では、「Top ページ」「Home ページ」を以下のように使いわけています。

Top ページ /index.html のこと

Home ページ ・ デフォルトページ機能が「有効」な場合は指定された html ページ
 ・ デフォルトページが「無効」な場合は /index.html

2. Top ページが表示されます。



VN-C10静止画
閲覧表示を開始した時点の
カメラ映像が表示されます。

各Webページへのリンクボタンです。
(シングルクリックで動作します)

ご注意

VN-C10 の画像モードが MPEG4 の時はブルーバック画面となります。

6-4 Web ブラウザでの設定

Web ブラウザで IP アドレス、画質、アラーム、FTP などの設定をおこないます。

TOP ページ



VN-C10 静止画
閲覧表示を開始した時点の
カメラ映像が表示されます。

各Webページへのリンクボタンです。
(シングルクリックで動作します)

設定ページが一覧表示されます。



Homeページへのハイパーリンクです。

6-4 Web ブラウザでの設定 (1. その他の設定)

Other settings :

http://*****/config.html(*****/ 部は VN-C10 を示す URL)

セットアップは「その他の設定項目」の内容を変更することによりおこないます。
(標準コントローラに添付の V.Networks Setup Tool でも同様の設定が可能です)

その他設定項目	設定値
DHCP	☐ 有効 ☒ 無効
IPアドレス	192.168. 0. 2
サブネットマスク	255.255.255. 0
デフォルトゲートウェイ	0. 0. 0. 0
Host名称	8文字以内
MACアドレス	00.80.88.00.30.3A
プログラムバージョン	Version 1.3
パスワード (8文字以内)	ユーザレベル (再入力)
	オペレータレベル (再入力)
	管理者レベル (再入力)
キャッシュ設定	☐ キャッシュ 禁止
FTP Server 機能	☐ 有効 ☒ 無効
デフォルトページの設定	☐ 有効 ☒ 無効
	/user/ .html 20文字以内
HTTP Port	00080 (通常は80)
NTP設定	☐ 有効 ☒ 無効
	サーバIPアドレス 0. 0. 0. 0
	タイムゾーン GMT 000 (-12~+13)
補正周期	00 日 00 時間毎に時刻補正 (31日以内)
設定ボタンを押すと、上記内容が反映されます。	
設定	

「設定」をクリックすると、
設定が更新されます。

6-4 Web ブラウザでの設定（1. その他の設定）（つづき）

「その他の設定」各項目の説明

項 目	効 果
DHCP	DHCP を使用するときには有効を選択します。
IP アドレス	ネットワーク管理者に割り当てあるいは承認を得たIPアドレスに変更します。（※ DHCP を使用しない場合のみ変更可能です。）
サブネットマスク	サブネットマスクはIPアドレス同様にネットワークの管理者に指示、あるいは承認を得た値を設定します。（※ DHCP を使用しない場合のみ変更可能です。）
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを指定します。使用しない場合は、0.0.0.0を指定します。（※DHCPを使用しない場合のみ変更可能です。）
Host 名称	半角英数字 8 文字以内で指定します。（半角カナは不可）DNS (Domain Name System) が使用できる環境でホスト名称によるアクセス・リンクを行う場合に指定します。各サブウィンドウのタイトルバーにも表示されます。 使用しない場合や不明な場合は何も入力しないようにします。
MAC アドレス	製品の固有の物理アドレスです。変更することはできません。
プログラムバージョン	VN-C10本体のファームウェア・プログラムバージョンです。変更することはできません。
パスワード (8 文字以内)	VN-C10のパスワードを、半角英数字8文字以内で指定します。（半角カナは入力できません）
ユーザレベル	ユーザレベルパスワードを入力してください。
オペレータレベル	オペレータレベルパスワードを入力してください。
管理者レベル	管理者レベルパスワードを入力してください。
キャッシュ設定	ごく一部のプロキシサーバはcgiをキャッシュする場合があります。このような場合はキャッシュ禁止にチェックをしてください。
FTP Server 機能	FTP Server機能の有効・無効を設定します。本機能が有効な場合、一般的なFTPクライアントソフトウェアにて、本機へ各種ユーザHTML ページや gif・jpeg 画像等をアップロードする事が可能です。 ※ アップロードしたファイルは全て /user フォルダ直下に配置されます。 Web ブラウザからはhttp://192.168.0.2/user/aaa.htmlのようにアクセス可能です。（FTP で格納した aaa.html を参照する場合。192.168.0.2は本機のIPアドレスです。） ※ FTP ユーザ名は「Administrator」固定です。また、FTP パスワードは管理者レベルパスワードを用いてください。
デフォルトページの設定	通常のVN-C10Topページが指定されます。有効な場合、指定されたhtml ファイルをデフォルトページとして使用します。 ※ デフォルトページとは～IPアドレスだけを指定した場合に表示されるページです。

ご注意

本機能を有効にしてもここで指定したhtmlファイルが存在しない状態では、http://192.168.0.2/という指定をすると404: Not FoundなどとWeb ブラウザのメッセージが表示されますので、正しく指定してください。

操作 (Step 6 Web ブラウザでの操作)

6-4 Web ブラウザでの設定 (1. その他の設定) (つづき)

「その他の設定」各項目の説明

項 目	効 果
デフォルトページの設定 (つづき)	
有効／無効	Default Page 機能を使用する場合には「有効」に、使用しない場合には、「無効」に設定してください。
ファイル名	デフォルトページとして使用するhtmlファイル名を入力してください。
HTTP Port	本機のHTTPServerのポート番号をデフォルトの80番以外に設定し、セキュリティを高めることが可能です。(1～65535の範囲で指定可能、ただし21および554は除く) HTTPポート番号を変更した場合は、Webブラウザよりhttp://192.168.0.2:12345/または、http://192.168.0.2:12345/index.htmlというようにアクセスします。(ポートを12345番に変更した場合) HTTPポートが何番かわからなくなった場合は、付属のセットアップツールで確認してください。
NTP 設定	NTP(Network Time Protocol)サーバに対する設定を行います。
有効／無効	NTP機能を使用する場合には「有効」に、使用しない場合には「無効」に設定してください。
サーバIP アドレス	NTPサーバのIP アドレスを入力します。
タイムゾーン	グリニッジ時刻をもとに、ローカル時刻を算出します。
補正周期	設定された周期で、NTPサーバから正確な時刻を取得することにより、時刻のずれを補正します。

メモ

・パスワード保護機能

VN-C10には接続されているブラウザ(ユーザ)を規制するためにパスワードによるアクセス保護機能があります。このアクセス保護機能は権限レベルに合わせて3段階設けてあります。権限レベル毎のアクセス(閲覧表示)できるページは次のとおりとなります。(VN-C10のWebページの構成は62ページを参照してください。)

権限レベル	アクセス許可内容
ユーザレベル	静止画像ページ、動画ページのみ
オペレータレベル	設定ページを除く Web ページ
管理者レベル	すべての Web ページ

ご注意

- ・パスワード設定は管理者レベルでの現在のパスワードが一致しない限り、解除・変更できませんので絶対にパスワード忘れのないようにしてください。
- ・ユーザレベルまたはオペレータレベルのパスワードだけを設定し、管理者レベルのパスワードが未設定の状態ではパスワードは要求されません。IP アドレス、サブネットマスク、Host 名称、HTTP Port の設定が変更された場合に、「変更するとリセットされますがよろしいですか?」という確認画面が出ます。
この確認画面で「OK」を設定した時点で、VN-C10の本体内部リセット動作が行われ、IP アドレスなどが変更となります。変更前のIP アドレス(工場出荷値)は無効となりますので、リセット動作後、VN-C10への接続は切断状態となります。Web ブラウザを無操作のまましばらく放置すると接続できない旨のメッセージが表示されますがIP アドレス変更の結果によるものです。(ポート番号を変更した時も同様です)

6-4 Web ブラウザでの設定（2. 映像設定）

画質設定ウィンドウ：

http://*****/configimage.html（***** 部は VN-C10 を示す URL）

「設定」をクリックすると設定値が有効となります。

この画面で設定した値が全て工場出荷時の値に戻ります。

項 目	効 果
圧縮率	画像の圧縮率を設定します。 数字が小さいと、圧縮率は小さく、画質は向上しますがデータ量は多くなります。 （可変値：1～7）（工場出荷時：2）
色の濃さ	色の濃さを調整します。 数字を小さくすると、色が薄くなります。（工場出荷時 25）
ホワイトバランス	色の基準となる白バランスに関する設定をおこないます。
Auto	色合いの基準となるホワイトバランスを自動的に調整します。
R ゲイン	手動でホワイトバランスの赤味を強調します。 （可変値：0～100）（工場出荷時 Auto）
B ゲイン	手動でホワイトバランスの青味を強調します。 （可変値：0～100）（工場出荷時 Auto）
AGC,AES,BLC	AGC : 明るさに応じて自動的にゲインを調整します。 AES : 明るさに応じて自動的にシャッタースピードを調整します。マニュアル アイリスレンズ使用時のみ設定してください。 BLC : 被写体の背景に明るい光源がある場合に設定します。 （工場出荷時 AGC のみ ON）
シャッタースピード	1/60 : 通常はこの位置で使います。 1/100 : 商用電源周波数 50Hz 地域で蛍光灯照明下によるフリッカー現象（明るさのチラツキ）を軽減します。 （工場出荷時 1/60）
アイリスレベル	DC IRIS レンズを使用の時、明るさを調整します。 数字を小さくすると、アイリス（絞り）を閉じ、暗くなります。

6-4 Web ブラウザでの設定 (3. 表示設定)

表示設定ウィンドウ：

http://*****/viewconfig.html (***** 部は VN-C10 を示す URL)



「設定」をクリックすると、設定が更新されます。

項 目	効 果
画像サイズ	画像サイズは640×480、320×240、160×120のいずれかが選択できます。 ※Fine モードに設定すると、細かな画像まで確認できます。 ただし、動きのある被写体を撮影する時は、設定しないでください。
JPEG フレームレート	VN-C10から送信される画像の毎秒あたりの送信フレーム数の上限を設定します。

ご注意

- 実際に送信および表示される毎秒あたりのフレーム数はパソコンの性能やWeb ブラウザの違いまたはLAN 環境などに左右されます。他のユーザ処理との通信障害が予想されるような場合(特に普段ネットワークに比較的大きな負荷がかかっている環境の場合)は「フレームレート」の設定を小さな値に設定するようにしてください。
- 本機への同時アクセス数に応じて、必ず「フレームレート」の設定調整をしてください。処理能力を超えた状態では、Web ページの表示、移動、ボタンの動作などが正常におこなえない場合があります。

6-4 Web ブラウザでの設定は（4. アラーム設定）

アラーム設定ウィンドウ：

http://*****/alarm.html（****部は VN-C10 を示す URL）

アラーム信号が入力されたときの VN-C10 の動作を設定します。



項 目		効 果
入力	アラーム 1、2	アラーム信号が入力された場合の動作を指定します。
	有効／無効	アラーム 1、2 にアラーム信号が入力された場合の動作を指定します。
	アラーム出力	アラーム出力を選択すると、出力ポート設定に従い背面部 ALARM OUTPUT 端子にアラーム信号を出力します。
	運動アラーム	2 つのアラームが設定時間間隔内に連続して入った場合の運動アラームについて設定します。
	有効／無効	運動アラームを使用する場合には有効に、使用しない場合は、無効に設定します。
	連動アラーム設定	アラーム入力の順番とその時間間隔を設定します。
出力アラーム	アラーム出力	アラーム出力を選択すると、出力ポート設定に従い背面部 ALARM OUTPUT 端子にアラーム信号を出力します。
	有効／無効	アラーム出力に関する設定をおこないます。
	モーメントム出力	背面部 ALARM OUTPUT 端子にアラーム信号を出力するには、有効を選択します。
	出力値	アラーム出力として High 信号を出力するか、Low 信号を出力するかを設定します。
	電源投入時の初期出力	有効を選択すると、電源投入時に設定したアラーム信号を 1 回出力します。

ご注意

- 出力の設定は、アラーム出力先の機器に合わせて設定してください。
- アラーム設定を設定後は、必ずアラーム動作が正常に行われることを確認してください。

6-4 Web ブラウザでの設定 (5. FTP 設定)

FTP クライアント設定ウィンドウ：

http://*****/ftp.html (****部は VN-C10 を示す URL)

(MPEG4 ではこの設定はおこなえません)

メモ

- ・ FTP クライアント機能とは…
VN-C10 の画像（静止画像）を、既存の FTP サーバに周期的にアップロードする機能です。
これにより、サーバからの画像配信サービスを可能にすることができ、画像を配信するクライアント数を大幅に増やすことができます。

FTP		設定項目
動作	☐ 静止画FTP	
	アップロード周期 00060 秒 (0～86400 秒)	
	ファイル名称	
	☒ vnetworks .jpg (1～32 文字)	
	☐ タイムスタンプ形式 (例 2001-06-07-17-34-12-653.jpg)	
ユーザ名	anonymous (1～16 文字)	
パスワード	(0～32 文字)	
FTPサーバIPアドレス	0.0.0.0	
FTP Port	00021 (通常は21)	
FTPフォルダ	(0～64 文字)	
コネクション	☐ 毎回コネクションを切断	
エラー処理	接続エラー時	
	☒ 無期限リトライ	
	☐ 010 分間接続をリトライ (1～600 分)	
	転送エラー時	
	☒ FTP 機能無効	

設定ボタンを押すと、上記内容が反映されます。

「設定」をクリックすると、設定が更新されます。

6-4 Web ブラウザでの設定 (5. FTP 設定) (つづき)

項 目		効 果
動作		FTP 機能を使用するかどうかを設定します。
静止画 FTP	アップロード周期	周期的に、FTP サーバに JPEG 画像をアップロードする機能を使用する場合、チェックします。
	アップロード周期	FTP サーバに画像をアップロードする間隔を指定します。 (設定値: 0 秒～84600 秒)
	ファイル名称	アップロードする画像のファイル名を指定します。
	*.jpg	ここに入力されたファイル名でアップロードします。 ※同じファイル名の画像をアップロードしますので、FTP サーバには 1 枚の画像ファイルしか残りません。(最新画像が上書きされます)
	タイムスタンプ	現在の時刻を NTP サーバから取得し、取得した時刻を (YYYY-MM-DD-HH-MM-SS-mmm) 形式でファイル名として、画像をアップロードします。 ※常に違うファイル名の画像がアップロードされますので、FTP サーバには、アップロードされた画像ファイル数だけ、画像ファイルが残ります。
ユーザ名		FTP サーバとの認証に使用するユーザ名を入力します。(1～16 文字)
パスワード		FTP サーバとの認証に使用するパスワードを入力します。 (0～32 文字) (***) で表示されます)
FTP サーバ IP アドレス		アップロード先となる FTP サーバの IP アドレスを入力します。
FTP Port		アップロード先の FTP のポート番号を入力します。
FTP フォルダ		アップロード先となる FTP サーバ上のフォルダを入力します。
コネクション		アップロードすることにコネクションを切断するかどうかを設定します。
	毎回コネクションを切断	1 枚画像をアップロードする毎に、コネクションを切断します。 次回画像をアップロードする時には、コネクションを確立してから、画像をアップロードすることになります。
エラー処理		FTP に関するエラーが発生した時の動作を指定します。
接続エラー時	接続エラー時	TCP コネクション・FTP 認証に関するエラーが発生した場合の動作を指定します。
	無期限リトライ	VN-C10 の電源が切られるまで、リトライし続けます。
	リトライ間隔	指定された時間内だけ、リトライし続けます。 (設定値: 1 分～600 分)
転送エラー時	転送エラー時	アップロード最中に、ファイル転送エラーが発生した場合の動作を指定します。
	FTP 機能無効	転送エラーが発生した場合、自動的に VN-C10 の FTP 機能を無効にします。再開するには、有効に設定してください。

6-5 静止画像の閲覧

静止画像ページ：

http://*****/still.html (****部はVN-C10を示すURL)

このページは静止画像のみを閲覧表示するページです。閲覧表示を開始した時点のカメラ映像が表示されます。画像を更新するには、Webブラウザで「再読み込み」や「更新」の操作をおこなってください。表示されている画像を保存するにはWebブラウザの「画像を名前をつけて保存」操作をおこなってください。



Homeページへのハイパーリンクです。

6-6 動画画像の閲覧

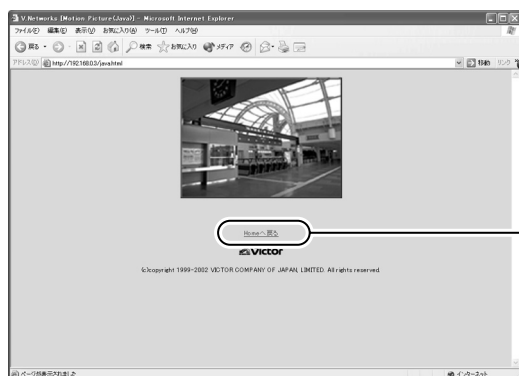
動画画像ページ：

http://*****/java.html (****部はVN-C10を示すURL)

このページは動画画像のみを閲覧表示するページです。カメラ映像が自動更新され動画として表示されます。

メモ

このページはWebブラウザの「画像を名前をつけて保存」操作を対象として作成されていませんので保存操作はおこなわないようにしてください。また、Webページ全体の「名前をつけて保存」操作にも対応していませんので同じく保存操作はおこなわないようにしてください。



Homeページへのハイパーリンクです。

6-7 画像のリンク

VN-C10 の出力画像を別途作成した Web ページに貼りつけます。

VN-C10 で撮影された映像 (動画、静止画) は自作の Web ページに埋め込んで表示させることができます。

メモ

VN-C10 が MPEG4 モードの場合は表示できません。

静止画像の表示：

下記の内容を記述した Web ページを作成することにより静止画像を表示させることができます。

`<IMG SRC="http://*****/still.jpg">` (***** には VN-C10 を示す URL を記述する)

動画画像の表示：

動画画像は Serverpush による方法と Java による方法があります。

Web ブラウザの対応状況に応じて使い分け (または、Web ページ上での記述に工夫) が必要です。

Serverpush による表示

下記の内容を記述した Web ページを作成することにより Serverpush に対応した Web ブラウザ (Netscape) で動画画像を表示させることができます。

`<IMG SRC="http://*****/push.jpg">` (***** には VN-C10 を示す URL を記述する)

Javaapplet による表示

下記の内容を記述した Web ページを作成することにより Java に対応した Web ブラウザ (Internet Explorer 等) で動画画像を表示させることができます。

`<APPLET CODE="mjpeg.class" WIDTH=640 HEIGHT=480 CodeBase="http://*****/"></APPLET>`
(***** には VN-C10 を示す URL を記述する)

メモ

- 閲覧表示される静止画像、動画画像共に画像サイズ、圧縮率等はあらかじめ設定されている設定値の通りとなります。
また、Web ブラウザで Java の実行を無効にする等の設定がされている場合は正しく表示されない場合があります。
- パスワードが設定されている場合には、あらかじめ認証を通しておかないと、Java での動画画面表示ができません。(Internet Explorer の制限)
- “WIDTH” 及び “HEIGHT” は VN-C10 で設定した画像サイズと同じ値にしてください。
- Ver 4.06 より古いネットスケープをお使いの場合、動画を閲覧するためには Java Plug-in を Ver1.1 以上に更新する必要があります。
Java Plug-in は <http://java.sun.com/getjava/> などから入手可能です。

こんなときは

症 状	対 応
V.Networksセットアップツールで変更したVN-C10のIPアドレスがわからなくなった。	● V.Networks セットアップツールの「検索」で、ネットワークに接続されたカメラのIPアドレスの一覧が見れます。
録画できない。	● 保存先フォルダが削除されていませんか？ 保存先にフォルダがあるか確認してください。 ● ディスクがいっぱいになっていませんか？ ディスクの空き容量を確認してください。
「接続中 ... 表示中のキャンセルに時間がかかる。	● 一度接続動作になると、数秒間はキャンセルできません。
色合いが気になる。	● ディスプレーやビデオカードのカラー調整を確認してください。 ● True Color(24 ビット)表示に切り換えてください。 High Color(16 ビット)以下の設定では、自然な色合いが再現されにくくなります。
画像サイズや画質がひとりでに動いた。	● 同じVN-C10を複数台のパソコンで接続している場合、最後に操作したパソコンで、VN-C10 は設定されます。
VN-C10 に接続できない または、接続が切断される。	● ブロードキャストやコリジョンが多発しているときなど、ネットワーク状態に異常があると、VN-C10に正しく接続されなかったり、接続が切断される場合があります。 ネットワーク状態を確認してください。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。

故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店又は別紙ビクターサービス窓口案内をご覧くださいのうえ、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買い上げ販売店又はビクターサービス窓口にご相談ください。

- ・機種名：VN-C10
- ・故障の状態をできるだけ詳しく：
- ・ご購入年月日：
- ・ご住所、ご氏名、電話番号

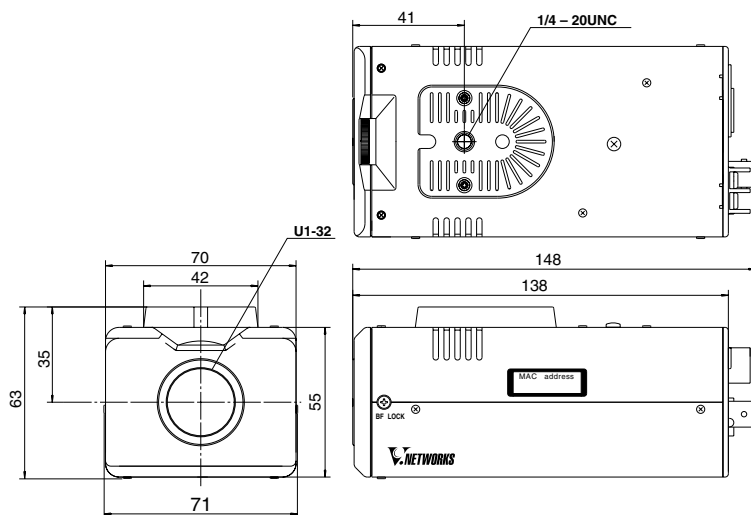
商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適正に処理してください。

仕様

LAN 規格	IEEE802.3、IEEE802.3u 準拠
通信プロトコル	TCP/IP、UDP、HTTP、FTP、ICMP、ARP、RTP、RTSP、DHCP、NTP
モニタ出力	コンポジットビデオ×1 (75 Ω、1 Vp-p)
撮像素子	インターライン転送方式 CCD
有効画素数	約 380,000 画素 768 (H) × 494 (V)
イメージサイズ	1/3 型
映像 S/N 比	50 dB (標準、50%、AGC OFF、圧縮率：設定値 1)
最低被写体照度	2.5 lx (標準、50%、F1.2、AGC ON)
画像圧縮フォーマット	JPEG、MPEG4
画像サイズ	640 × 480、320 × 240、160 × 120 MPEG4 では 640 × 480 の設定はできません
レンズマウント	C/CS マウント
アラーム入力	無電圧 a 接点入力、NPN オープンコレクタ入力 ローレベル、ラッチ / モーメンタリ (500 ms) 以上 (ローレベル時回路電流 0.6 mA、ハイレベル時印加電圧 3.3 V)
アラーム出力	NPN オープンコレクタ出力 (許容印加電圧 12 V 許容流入電流 300 mA)
ネットワーク インターフェース	RJ-45 (カテゴリー 5)、 10BASE-T/100BASE-TX (オートネゴシエーション)
内部メモリ	8 MB
電源電圧	DC12 V 又は AC24 V 50 Hz/60 Hz
消費電流	1.2 A (Max.)
動作温度	0℃～40℃
質量	約 560 g

外形寸法図 [単位 : mm]



- 本機あるいは関連商品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

お客様ご相談センター

東京

電話 (03)5684-9311 [代表]

FAX (03)5684-9317

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7ビクター本郷ビル

大阪

電話 (06)6765-4161 [代表]

FAX (06)6765-4891

〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

日本ビクター株式会社

システムネットワーク事業本部

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2

電話 (0426) 60-7203

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-1-1 (田辺ビル) 電話 (03) 3663-9054